



「JR巢鴨駅近くのソメイヨシノ」

No.45

# 銀友

本郷学園同窓会

総会のお知らせ

■日時 2016年6月18日（土）15：00より

■場所 本郷学園1号館2階会議室

## 学園より教育振興資金へのご寄付のお願い

本郷学園同窓会の皆様には、日頃学園をご支援いただき心から感謝いたします。お蔭様で中学、高校とも、外部の皆様方から教育内容の充実した学校として年々、より高い評価を戴いております。

今後とも、建学以来の教育理念に則って社会有為の人材を育てるべく、学園あげて取り組む所存でございますので、ご支援の程、宜しく願い申し上げます。

学校の教育内容充実、施設整備などの用途を目的に寄付金を在校生の保護者、卒業生の皆様ほか個人、法人を問わず幅広く受付しておりますので、ご案内申し上げます。学校法人への寄付金は非課税扱いになっております。趣旨にご賛同いただきましたうえでご協力賜りますよう宜しく願い申し上げます。

(なお、本学園では従来から入学に際し保護者の皆様へのご寄付のお願いは特に致しておりません。)

### ●お申し込み方法

①学園事務室に寄付の申込書をご請求ください。

学校法人 本郷学園

〒170-0003 豊島区駒込4-11-1

電話 03-3917-1456

ファックス 03-3917-0007 担当 石田(事務長)

②申込書に所定事項をご記入の上、事務所へご提出ください。

③指定の銀行振込口座にご入金ください。

④入金確認後、「振込金受領書」並びに

「特定公益増進法人であることの証明書」(写し)を郵送いたします。

### ●税法上の寄付金控除

私立学校への寄付金は特定公益増進法人に対する寄付金として確定申告により所得税から控除されます。

なお、寄付金控除額は控除対象団体等への年間支払い寄付金の総額(年間総所得の40%以内)から2千円を差し引いた額になります。

## 卒業生の皆様へご協力の御願い

本郷学園は2022年(平成34年)に創立100周年を迎えます。

現在、100周年の企画にむけて、学園の歴史にかかわる資料や情報の収集を行っております。昨年6月には2号館1階に「本郷ギャラリー」を開設し、学園の沿革・歴史が概観できるようパネルや写真を中心とした展示を始めました。

つきましては、卒業生の皆様方から学園生活にまつわる品物や情報のご提供・ご協力を賜りたく御願い申し上げます。

本郷生の学園生活も時代とともに変化してきておりますので、ごくありふれた物と思える品々でも、今日では貴重な資料となるものが多くございます。特に生徒の立場で使用された物や時代の古いもの等は学園側には保存されておられません。例えば以下のような品物を探しております。

- 学帽・学生服や運動着、学用品や教材類
- 部活動や同好会活動などの部誌、記念品など
- 学校行事のしおりなどの印刷物や写真類
- 学校や生徒を紹介した新聞・雑誌等の掲載記事
- 音声や映像(カセットテープ、8ミリ、ビデオテープ…)
- 卒業生の著作物
- 旧制中学時代(戦前・戦中)の品物や卒業証書など
- 卒業アルバム(特に昭和20年代までは欠本が多く、探しております)

また、学園にまつわるエピソード・思い出話などの情報(先生・級友との思い出、学園生活や駒込・巣鴨の様子…)もお寄せ下さい。

資料のご提供の方法は、必ずしもご寄贈の形ではなくとも結構です。一旦お借りしてデジタルデータ等の複写・複製をとり、後日原本を返却させて頂く方法も行っております。各資料に応じて個人情報保護の対応も致します。

お問い合わせ、連絡先は以下の通りです。是非ともご協力くださいますようお願い申し上げます。

本郷学園 校史編纂室

担当 齋藤悦正

〒170-0003 東京都豊島区駒込4-11-1

03-3917-1456(代) E-mail y-saito@hongo.ed.jp

p3  
ごあいさつ

● 本郷学園同窓会 会長

1956年〓昭和31年卒業 南谷 修 (高校8回生)

● 学校法人 本郷学園理事長

松平 頼武

● 校長 佐久間 昭浩 前校長 北原 福二

p7  
投稿

● 本郷高校から2020年東京オリンピックへ

1975年〓昭和50年卒業 鈴木 利一 (高校27回生)

● 山梨の宝飾産業史

1981年〓昭和56年卒業 西 洋一 (高校33回生)

● 本郷医師の会

1988年〓昭和63年卒業 岡本 明久 (高校40回生)

p15  
「本郷の先輩たち」

同期の輪

「成人の集い」「還暦の集い」ほか

p27  
トピックス

● 第三回本郷医師の会

1996年〓平成8年卒業

本郷医師の会幹事長

杉下

和行 (高校48回生)

● 70年ぶりの卒業式

1945年〓昭和20年卒業

岡田

光正 (中学18回生)

● 父の自分史

1954年〓昭和29年卒業 関 貞三 (高校6回生)

p31  
2016年度事業計画・予算案

p33  
2015年度事業・決算報告

p35  
2015年度定期総会報告  
1973年〓昭和48年卒業 千野 邦雄 (高校25回生)

p36  
2015年度本郷祭報告  
1980年〓昭和55年卒業 米澤 潤 (高校32回生)

p37  
2015年度表彰報告

p38  
本郷学園同窓会役員一覽(案)

p39  
学園だより  
● 2016年大学入学試験合格実績

p40  
本郷学園同窓会会則

p42  
本郷学園同窓会会費納入者一覽

p45  
計報



本郷学園同窓会  
会長

南谷 修

1956年=昭和31年卒業  
高校8回生

染井の桜が満開となり春爛漫、この冬は暖冬と言われながら厳しい寒さに襲われたかと思えば何十年ぶりの温かさと、身体が追従しない方々も多くおられたのではないのでしょうか。

この様な異常的な気象状況が続いているなか、九州熊本地方では震度7の大地震が起きたり、一方、社会はまさに混沌とした情勢であります。国内を見ると、まさかの「世界の亀山モデル」と言われた家電会社の凋落、トヨタは円安を受けた過去最高の営業利益3・0兆円と途轍もない数字が踊り、かつ日銀のマイナス金利政策による経済への影響など、大変な雰囲気醸しだされております。

国外を見ると、中国経済の減速、或いは、国際通貨基金（IMF）が定めるSDR（特別引出権）の構成における通貨バスケットの人民元の組入れに対する思惑、運用違いの発生、さらに資源国の原油安が成長の足を引っ張り、米国のシェール革命が萎み、資源国の低成長率となり、さらに欧州の難民流入、ギリシャ国債超過経済の兆し、あの優秀なドイツ銀行によるデリバティブの不振、各地で起きるテロ行為と、何が起きても不思議でない環境状況です。

今こそゆつくり腰を落ち着かせ、自分の判断基準を持って対応する時なのでしよう。

一方、学園は北原校長から佐久間校長へと交代しました。北原校長は進学校としての本郷を確実なものとしていただきました。本郷にありがとうございました。佐久間新校長は教頭も務めており、本郷を熟知しておられます。さらなる発展を期待しております。

進学については、東大では新制度の

はじめての年の特別推薦枠で1名、試験入学が10名となり、併せて11名となりました。昨年同様、高い水準を維持しております。

また昭和20年3月の卒業生の中で、卒業証書を受け取れなかった人達がおられました。その中で今里氏、檜垣氏ですが、平成27年11月5日に70年ぶりに卒業式と証書を松平理事長より手渡すことが出来ました。昭和20年3月10日東京大空襲により学校も焼け、生徒は勤労奉仕や疎開などしており、連絡のままならぬ中で卒業生を集め卒業式と証書を渡したそうですが、連絡のつかない方々もかなりいたそうです。その中で今里さん、檜垣さんが70年ぶりの卒業証書を手になされました。誠にありがとうございます。これからも健康に留意されて、お元気でいてください。同窓会も本郷学園のさらなる発展と同窓の輪の拡大、絆を強くすることに努めてまいります。どうぞ同窓の皆様のご協力、ご支援をよろしくお願い申し上げます。

ごあいさつ



学校法人 本郷学園  
理事長

松平 頼武

同窓会の皆様には、日頃、学園のために多くのご指導、ご支援を頂いております。心から御礼を申し上げます。

### 学園の近況

平成27年度の高専卒業生の大学への進学状況は、昨年同様たいへん良い結果を出してくれました。これは校長はじめ各教員の指導の功績であります。

また、中学、高校の入試も、順調に進めることが出来、平成28年度も良いスタートを切ることが出来ました。

昨年度は、運動部では水泳部、中学ラグビー部、文化部では、科学部、地学部、社会部、E S S部、マイコン部が全国レベルの大会やコンテストに出場し優秀な成績を収めました。

昨年6月には、「東京私立男子中学校フェスタ」を本校を会場に開催しました。これには東京28校、神奈川からも多くの男子校が参加し、学校紹介と入試相談を行うもので、当日は7,000人を超す来場者があり賑わいました。本年も再度、6月5日に本校で行うことが決まっています。

昨年11月には、本中第18回生、昭和20年ご卒業のお二人に、時の校長、「徳川宗敬」先生名の卒業証書の授与を行いました。  
このお二人は、杉山隆（今里隆）様、檜垣順次様であります。

戦争の激しい中で卒業証書を受け取れなかったとのことを、以前から伺っていましたが、たいへん遅くなりましたが、戦後70年の機にお渡しすることが出来ました。お二人には殊の外喜んでいただき、私共も肩の荷が下りた気持ちであります。

平成28年度は4月から、中学、高校の校長の交替を致しました。

北原福二先生は、平成18年に本校に來られ、2年間中学教頭を、8年間校長をお勤めいただきました。この間、卒業生の大学入試に好成績を出せるまでに指導いただき、中高の入試にも大きな成果を出していただきました。また、外部との連携強化にも尽力いただきました。

本校の創立90周年に当たっては、2号館、4号館の建設がありましたが、これらの設計から活用までについての指導をいただきました。

本校の歴史に残る、良い仕事をしていたのだと感謝しています。

新校長には、本校に在籍26年の、佐久間昭浩教諭に当たっていただきます。本校で長く教鞭を執り、若返り人事で、平成34年の本校の創立100周年に向けて進むことと致しました。

また、付属の「もみじ幼稚園」も、19年間園長(22年勤務)を勤められた福永恭子先生から、新たに園長が宮川悦子先生に代わりました。

宮川先生は、他の幼稚園での経験も長く、本園にも数年間在籍されました。本年より新しい体制で幼稚園児の保育を進めて参ります。

本校2号館の(歴史)資料室は、徐々にではありますが整備が進んでおります。同窓会の皆様にも是非ご来校、ご覧いただければと思



教育目標

います。また、皆様がお持ちの、本学園に関する資料がございましたらご提供いただければ幸いです。

同窓会の皆様へ

最後になりましたが、本学園の中学校、高等学校の入学についてであります。

同窓会の皆様のご家族、お知り合いの方で、受験を考えている方がおられましたら、是非とも本校受験をお勧めいただけるよう、お口添えお願い致します。

母校の教育を深く理解されている卒業生の皆様方にご協力を頂き、創立100周年に向けて、本学園をますます善きものに致したいと考えております。

同窓会の皆様方には、本年も、本学園のために、変わらぬご指導と、ご支援をよろしくお願い申し上げます。

ごあいさつ



本郷中学校・高等学校  
校長

## 佐久間 昭浩

北原福二校長先生のご退任を受け、本年4月より校長を拝命しました佐久間昭浩です。よろしくお願

ごあいさつ



本郷中学校・高等学校  
前校長

## 北原 福二

「銀友」の記事から、今の学校の様子と、これから移り変わりゆく姿をみる事ができます。伝統ある本郷

申し上げます。

本郷学園は今年度で創立九十四年目を迎えます。これまで、三万名を超える卒業生を輩出し、多くの方々が各界で社会をけん引する力となられていることは皆様ご存知のことと思います。諸先輩方のご活躍が現役生に多大な勇気を与えていることは、想像に難くありません。今後この伝統を絶やすことなく、次世代の若者達に引き継いでいくため、創立者松平頼壽先生の「知育・

の一時期に関われたことをとても嬉しく思っています。10年間お世話になり、3月末に退任することになりました。

グラウンドの人工芝、2・4号館の改築、創立90周年行事など、本郷の歴史と逞しさを感じる大きな取組みがいくつもありました。『デザイン科展』では、第二線で活躍する「本郷の力」を間近に力強く感じる事ができました。

「本郷の魅力」を問われる機会が

徳育・体育の調和こそ教育の眼目」という理念と、学園の「国家有為の人材の育成」という建学の精神を教育の根幹としてたくましい男子の育成に邁進する所存です。

本郷学園のさらなる発展のため、微力ではありますが全力を尽くして参ります。

今後とも、同窓会の皆様の本校への変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

多くありましたが、明るくて『逞しい野武士のような集団』だと思っています。明日の明るい社会を求めて、少々なことではへこまないし、どんな厳しい状況でも冷静沈着に行動し、最後まであきらめない気概を持つている若者という印象がありました。今後、伝統としてこの雰囲気を受け継げられることと思っています。力強いご支援ありがとうございます。

投稿 

# 本郷高校から2020年 東京オリンピックへ

鈴木利一



1975年＝昭和50年卒業  
(高校27回生)

2015年秋に同窓会関係者から執筆依頼のご連絡を受けて驚きました。「なんで私に？」と。

お話を伺ったところ、以前同窓会案内はがきの返信に現在東京都カヌー協会の評議員をしていると記入したのが目に留まったそうです。

私は、本郷高校在学中サッカー部に所属しておりました。当時のサッカー部は都内屈指の強豪校で、インターハイや高校選手権などでは必ずベスト4に入っていて、特に私が2年生の昭和48年(1973年)時に全国高校サッカー選手権大会決勝戦西が丘会場にて帝京高校を2-1で破り(当時)大阪の本大会にいどみま

した。初戦の相手は四日市中央工業高校でした。彼らのヘディングを防げず初陣を飾れなく残念でした。

私はサッカー部3年間で一度もレギュラーの1軍になれず、最高は3軍でした。2年になって顧問の阿出川先生と呼ばれブレイングマネージャーをすることになりました。選手、マネージャーそして練習試合の審判などいろいろ忙しかったのを覚えています。私が初めて部活に参加したときは、新生が100人以上いてボールなど蹴らせてもらえませんでした。夏の合宿で減り1年たったら半分以下になりました。いろいろあり卒業時には同期は6人になりました。そんな3年間の思い出の中

で一番印象に残っているのが、修学旅行です。なぜなら予選期間中だったのでサッカー部員は全員修学旅行に行かず、昼間は都内の博物館などの見学をしていました。友人が山陰の修学旅行から戻り面白かった話を聞いた時はうらやましかったのを思い出しました。

本郷高校を卒業し旭川大学に進みサッカー部に入りました。もう40年以上前の北海道の土地柄なのか酒の強い先輩が多くいて大変でした。大学のサッカー部は北海道大学リーグ2部の中で活動していました。大学を卒業後、地元「クスリのツルハ」(当時旭川が本社)に就職し(株)湯山製作所、ワールドグーズ(株)と転職しましたが、土日の休みが取れず社会人クラブチームに入りましたが維持できずやめてしまいました。その後37歳まで旭川に居住しておりました。



私の転機となったのが35歳の時でした。野田知佑のコマーシャルで当時愛犬のガクをフアルトボートの上のせて、湖の上を優雅に漕いでいたの心が動き行動に移しました。カヌーがしたくていろいろ調べていたら、幸い私の大学時代の後輩が札幌秀岳荘に勤務していたので相談しました。後輩は

旭川のクラブチームを紹介してくれて入会しました。現在では河川改修工事やダム建設などで自然な川下りが困難になりましたが、当時はもうワイルドすぎて人よりもキツネか熊に会いそうなところばかりでした。数年後に東京の実家に戻り茨城の那珂川や東京の多摩川御岳、埼玉長瀬とカヌーで有名などころで遊んでいました。その後縁があつて青梅市カヌー協会に入り競技カヌースラロームに興味を持ち練習し、草レース(写真)や公式戦のジャパンカップに参戦するようになりましたが、さすがに年齢的体力低下がきつく公式戦のエントリーは辞退し選手支援スタッフをしています。

現在は、青梅市カヌー協会に所属しながら選手監督達の遠征バスの運転やビデオ撮影などスタッフをしながら、東京都カヌー協会の評議員も行っています。2015

年和歌山国体カヌースラローム会場にて、国内審判員上級のJ級試験に受験して合格しました。2016年度から日本カヌー連盟のスラローム競技委員会の委員として国内公式戦の審判役員をすることになりました。更に今年4月23日、24日に富山県富山市八尾町の井田川会場にて第9回アジアカヌースラローム選手権大会(リオデジャネイロオリンピックカヌースラローム アジア地区最終予選会)が開催されます。その開催時に国際審判員試験があり受験の予定です。

2020年の東京オリンピックに向けて日本カヌー連盟は競技役員スタッフの補強等を進めております。ちなみにリオデジャネイロオリンピックでは、日本選手が昨年ロンドンで開催されたカヌースラローム世界選手権大会にて出場権を得ています。参加選手は男子K-1(カヤックシングル)矢

投稿 

山梨の宝飾産業史

西 洋 一



1981年=昭和56年卒業  
(高校33回生)

近年「ニッポンのモノづくり」が見直されておりますが、皆様は国産の宝飾品に興味をお持ちでしょうか。私が住んでおります山梨では、国内で

生産される宝飾品の約三分の一を生産しており、宝飾品の生産に必要なデザイン、宝石の彫刻・研磨、貴金属加工といった技術が集まった世界的にも数

少ない宝飾産業の集積地です。古来より水晶の産地として知られる山梨ですが、水晶の加工業が基盤となっており、水晶の加工業を中心とした宝飾品の生産において国内最大の生産地に発展しました。私はその山梨の宝飾産業界に人材を輩出する国内で唯一の公立の宝飾専門学校「山梨県立宝石美術専門学校」に教員として勤

澤一輝（国別11位）、女子WK1（カヤックシングル）、矢澤亜季（国別15位）、男子C-1（カナディアンシングル）羽根田卓也（国別10位）です。アジア各国がその他のアジア枠を獲得すべく富山に集まってきました。今後世界中から多くの選手、スタッフそしてファンがオリンピックに向けて来日します。誰もが満足していただけるオリンピックになるように頑張っていきたいと思えます。

話は変わり現在の仕事というところ、爬虫類専門のハンドバッグ輸入卸販売の会社を2014年4月に個人起業いたしました。前年に勤めていた会社が閉鎖となりその業務を全て引き継ぐ形です。取扱商品はワニ、オーストリッチ、トカゲ、ヘビなどのハンドバッグで一部ベルトや若干ですがカーフ、シープ、ナツパなども仕入れております。仕入先は全てヨーロッパで、ドイツ、イタリア、スペインで、2014年10月にバルセロ

ナ近郊のTOUTS社、2015年2月フランクフルトのAR社、ミネル展示会、パルマのMAURO GVERNATA社、TOUTS社へ出張して打合せ注文をしてきました。弊社の取扱う商品はほとんど店頭に出ることがなく、外商部門扱いがほとんどです。しかし今は幅広い販路を検討しております。会計士や翻訳家の友達にお手伝いいただき、やっと2年がたち3年目になりました。今後も皆様のお力を得て頑張ります。

務する傍ら、学校附属の「山梨ジュエリーミュージアム」で来館者へ教育・普及活動を行っております。この度の投稿では、普段私が山梨ジュエリーミュージアムで来館者へ解説しております内容の中から、国産宝飾品を支える山梨の宝飾産業の歴史についてご案内したいと思います。

山梨の宝飾産業の源流は江戸時代末期に始まった水晶玉の加工にあります。当時、甲斐（現在の山梨）は徳川幕府の直轄領であり、庶民が幕府の許可なく水晶を採掘することはできませんでした。そのため山崩れなどで露頭した水晶を幕府の許可を得た商人が払下げを受け、水晶玉などに加工して京都などへ卸しておりました。京都では神社仏閣での利用があったそうです。

その後、明治期には甲府市の北部、金峰山周辺において民間の開発によるいくつもの水晶鉱山が現れて盛んに採掘を始めました。当時は良質の水

晶が数多く産出され、中には高さが高九十七センチもある大きな結晶（写真Ⅱ山梨大学所蔵）や、二つの結晶が同時に発生することで軍配やハートの形に成長した双晶と呼ばれる結晶も産出し、日本を代表する水晶産地として海外にまで知られるようになっていました。また水晶加工は当時の県令によって勸業政策として扱われ、甲府城内に設置された勸業試験場では水晶加工職人の養成を行っていました。養成された職人たちは産出した水晶を花瓶や硯、印材、笄（うきが）、ボタン、メ

ガネレンズなどに加工し、商人によって各地で販売されました。またこの時期に水晶加工の技術はかんざしなどを作る飾り職人の貴金属加工技術と結びつき、研磨した水晶をあしらったかんざしや、金の薄板を内側に貼り込んだ水晶の指輪などを生産するようになり、現在の宝飾品に近い製品が作られるようになりました。加工技術も次第に進化して行き、生産の現場に動力が導入されると量産品の加工が可能となつて多くの製品を全国へ向けて販売するようになりました。



ところが大正期に入ると山梨の水晶鉱山は水晶を取り尽くし、また海外から安価で良質な水晶の輸入が始まったことで水晶鉱山は次々に閉山してしまいます。その結果、山梨の水晶加工業者は山梨産の水晶の加工をあきらめ、海外産の水晶を輸入して加工することを選択するようになり

ます。当時の主な輸入先はブラジルでした。海外に原材料を求めなければならなくなったことは、その後の宝飾産業の発展に大きく影響して行きます。

そしてブラジルから多くの水晶を安定して輸入できるようになった大正期から昭和初期にかけて、山梨の水晶加工業者の中には水晶を加工した指輪やネックレスをアメリカへ輸出する業者も現れ、海外にも販路が拡大して行きました。

しかし、順調に見えた山梨の業界もその後訪れる世界的な経済恐慌の影響で水晶加工品の輸出が止まり

苦境に立たされます。そして太平洋戦争が始まると、水晶加工業者はレンズの研磨や水晶発振子の製造などで軍需産業に取り込まれて行きました。

戦後は水晶の輸入も再開し、進駐軍の日本みやげとして水晶加工品に人気が出たことから水晶加工業者は生産を再開し、山梨の業界はいち早く復興することができたと言われています。その後、海外からのダイヤモンドや色石の輸入が自由化されるなど、国内にも本格的な宝飾品市場が出来上がって行きます。それに伴い、山梨では伝統の水晶加工にとどまらず、様々な宝石を加工したジュエリーを製造して卸売りを始める業者が次々に現れます。特に高度経済成長期の昭和四十年頃を境にして一般に宝飾品が普及し始めると、山梨では現在の宝飾産業へとつながる本格的な量産体制が整い、国内各地からの需要にこたえて行きます。

また昭和五十六年には宝飾産業へ向けた人材を育成する山梨県立宝石美術専門学校が甲府市に開校し、官民を挙げて宝飾産業の充実に力を入れて行きます。そしてバブル経済の時代には国内の宝飾品の小売市場規模は約3兆円に膨らみ、宝飾品は広く一般に普及することとなります。その後は経済の失速に伴い小売市場規模も約1兆円に縮小するものの、時代の流れにより、宝飾品は豊かさの象徴から個人や家族などグループのアイデンティティーの象徴として、またファッションアイテムとして存在の意義を変えて行き、生産のスタイルも少量多品種生産へと移行して行きます。

この時期、山梨の宝飾業界では様々な宝飾品ブランドからの委託を受けて生産することが多く、生産の現場には付加価値が高く差別化された商品の開発が求められていました。折しも海外の宝飾品ブランド製品の輸入やアジア諸国での宝飾品の生産が

盛んになっていたこともあり、山梨の宝飾産業は海外製品との違いを明確にする必要に迫られていました。そこで平成十七年に新たに産地ブランド「kōōfū」を立ち上げ、産地活性化プロジェクトとしてデザイン性の高い高品位プラチナ製品の開発を中心に、山梨の優れた宝飾技術を国内外に向けて情報発信するようになります。その後「kōōfū」にはプラチナだけでなく、金、銀による高品質製品が加わり、国内外で注目を集めるようになりました。厳しい時代

を新しい感覚と技術力で乗り越えようとする山梨の宝飾業界は、現在も新しいモノづくりに挑戦し続けています。そして平成二十五年には山梨ジュエリーミュージアムが開館し、「kōōfū」製品をはじめ、山梨の宝飾業界の歴史や人、技術、製品について展示による紹介を行うようになりました。さらに土曜日、日曜日、祝日には職人による宝飾品の制作実演や、職人の指導による制作体験プログラムを実施するなど、宝飾品の普

及、啓蒙について様々な角度からの取組を行っています。本誌をご覧の皆様も山梨にお越しの際は、甲府駅近くの山梨県庁防災新館1階にあります山梨ジュエリーミュージアムにお立ち寄りいただき、山梨の宝飾産業の歴史とその製品をお楽しみいただけたらと思います。入館無料施設ですのでお気軽にご来館ください。最新の情報はホームページでご案内しております。  
(<http://www.pref.yamanashi.jp/yim>)

投稿

## 本郷医師の会

岡本明久



1988年=昭和63年卒業  
(高校40回生)

本郷医師の会会長として

皆様はじめまして。本郷医師の会会長の岡本と申します。昨今の本郷学園の大学入学実績から医師

になる後輩が増えていることを知り、機会があれば同じ釜の飯を食べた仲間と協力したいというアイデアを数年前からあたたためており

ました。平成24年春に知人を介して平成8年卒業の杉下さん（現本郷医師の会幹事長）と知り合い、私から本郷医師の会を作ろうと持ちかけました。本郷学園同窓会に協力をお願いし、平成25年発刊の銀友に本郷医師の会設立に関する告知を行いました。第一回本郷医師の会は平成25年11月に開催しま

した。平成27年まで毎年1回11月の最終土曜日に開催しております。詳細については本誌別ページをご参照下さい。南谷会長を始め

とした皆様のお力添えで本郷医師の会を本郷学園同窓会から正式に認定していただいております、安心してご参加していただけると思いますが、本郷高校の卒業生の医師・医学生であれば出身大学を問いません。年会費などもなく、年に1回の懇親会で親睦を深めることが中心ですので、お気軽にホームページからご連絡いただければ幸いです。

現時点では名簿上20名を越す会員数ですが、もう少し数が増えたら、本郷中学高校の在校生で医学部を目指している学生さんに何か協力ができるかを検討しているところですが、同級生に医師がいる方も多いと思いますので、彼らにお声掛けをいただくなど、今後の本郷医師の会の発展に皆様のご協

力をいただけますようお願い申し上げます。

### 本郷学園時代

私が本郷高校普通科に入学した時には、中学部はまだなくスポーツが盛んな高校だったように記憶しております。当時の担任の古川先生には大変良くしていただき、勉強に一生懸命取り組みました。医学部に合格した先輩の情報もほとんどなく、暗中模索ではありましたが、受験勉強では特に英語に注力して第一志望の名古屋大学医学部に合格しました。合格の報告を高校にした時には、皆様に喜んでいただき、私としても感無量の思いました。

### 医学部

医学部の授業は、最初は一般教養から始まります。そして、基礎医学、臨床医学、臨床実習と学年を上げるに連れて臨床医学の比率

が高まっていきます。基礎医学とは、わかりやすく言うと、医学研究の根幹を担う学問です。具体的には、解剖学、病理学、細菌学、生理学、生化学、薬理学などが挙げられます。日本では古くは北里柴三郎先生（細菌学者。破傷風菌の予防と治療で高名）や山極勝三郎先生（病理学者。人工発癌に世界で初めて成功）のような基礎医学者が多くおりましたが、近年では医学部卒業生が基礎医学の研究者を志すことは少なくなっています。

ノーベル医学生理学賞を受賞した山中伸弥先生の業績は基礎医学ではありますが、山中先生は最初から基礎医学に進まれたわけではありませんでした。基礎医学は理学部卒業生や臨床医学からの転向者によって支えられているのが現状です。臨床医学とは、皆様が一般に医学としてイメージしているものに近いと思います。各種疾患の治療・研究などを行う学問です。

内科、外科、産婦人科、小児科と  
いったいわゆるメジャー科や耳鼻  
咽喉科、眼科、皮膚科、精神科、  
放射線科、泌尿器科、整形外科、  
形成外科、麻酔科といったいわ  
ゆるマイナー科があります。

医学部6年生の最後に行われる  
医師国家試験に合格すると、医師  
として臨床医学の研修医になるこ  
とが現在では一般的です。初期研  
修医は2年間でスーパーローテー  
トという各診療科を効率よく広く  
浅く学ぶ研修システムが確立され  
ております。その後、専門科を決  
めて後期研修を3―5年程度行い  
ます。後期研修開始時に大学の医  
局に入る方が多いですが、医局に  
は属せずに初期研修を受けた病院  
でそのまま臨床医学を続けていく  
人も最近では増えてきました。

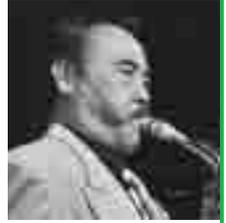
## 医師になってから

私が医学部を卒業したころは現  
在の研修システムが確立されてお

らず、卒業すぐに各科の医局に入  
る時代でした。私は都内の大学の  
内科に入局し、寝る以外の時間は  
病院で過ごすという生活を始めま  
した。厳しい環境ではありましたが、自分のことよりも目の前の患  
者さんのことで一生懸命で疲れを  
感じる暇もない日々でした。その  
後、大病院のような高度な医療  
を限られた数の患者さんに提供す  
るよりも、より多くの患者さんの  
治療にあたりたいと考えて、診  
療所での一般内科臨床に移りまし  
た。それでも医療が必要な人に十  
分な医療が提供できていない現状  
を打破すべく、15年前に杉並区で  
開業致しました。

開院当初から日曜診療を行い、  
忙しい方でも受診しやすいよう努  
めております。内科だけでは患  
者さんの治療は不十分と感じ、整  
形外科や皮膚科の診療も行ってお  
ります。昨今のニュースでも医  
療費の高騰が大きな問題として取

り上げられております。私も危  
惧しており、投薬の多くをジェ  
ネリック医薬品として、更に院  
内処方を行うことで（現在は院  
外処方が主流で院外処方のほうが  
医療費が増えます）、医療費削  
減を意識して治療にあたっており  
ます。開業しても毎日深夜まで  
働き続け、休日も診療に付随す  
る業務に追われて休みもままなり  
ませんが、中世の医師 Ambroise  
Paré (1510-1590) が残した  
to cure sometimes, to relieve often,  
to comfort always (時に治し、しば  
しば和らげ、常に癒やす) という  
言葉を忘れず、これからも診療に  
邁進していきたいと思っております。



リチャード・バインさん  
1954年=昭和29年卒業  
高校6回生

1935年生まれ。東京都文京区出身。本名は松本易夫。

アルトサクソス奏者・ヴォーカリスト。明治大学在学中より演奏活動を開始する。

1962年自己のクインテッドを結成。1969年リチャード・バイン&カンパニーを結成し、TV、ラジオに出演。

1973〜74年にかけてグアム島のサンプラザ・ジョイナスで長期にわたり演奏する。帰国後はメンバーチェンジをしながら「リチャード・バイン&カンパニー」を中心に都内のライブ・ハウス、ホテルで活躍。タイのバンコクで国王の誕生日を祝う催しで演奏をする。

### 本人からのコメント

『ひたすら歩むジャズの道』（2014年「銀反」の投稿より）

今年傘寿を迎える。おかげさまで今も、現役のジャズ・ミュージシャンとしてリチャード・バインのステーションームでアルト・サクソスを携え、マネージャー（と言っても妻だが）を置いて、元気に演奏活動を続けている。

演奏の舞台はライブハウスやホテルのラウンジなどが中心だが、時にはFM放送にも顔を出す。妻との二人三脚もこれまでと変わらないう。下世話に「道楽稼業」といわれるとおり、浮き沈みは激しい、苦勞ばかりかけている妻にはいつも感謝するばかりだ。



亀井 俊一 さん  
1958年=昭和33年卒業  
高校10回生

1939年生まれ。小鼓方(幸流)

日本大学芸術部演劇科卒業

幸祥光、幸正影師に師事

重要無形文化財総合指定保持者

(日本能楽会・公員)

公益社団法人 能楽協会 理事

東京芸術大学邦楽科非常勤講師

国立養成科主任講師 等歴任

現国立能楽既成者研修主任講師

昭和62年 紺綬褒章 受賞

### 【小鼓】

能の中で、オーケストラの役割が囃子方と呼ばれ、謡い、笛、小鼓、大鼓、太鼓の5種

で成り立っています。

小鼓はその中でも重要な打楽器です。小鼓は「胴」と「皮」、「調べ」の3つのパーツがあり、「胴」は桜の木をくりぬいて作られています。「皮」は馬を用いており、実際に手で打ち鳴らす部分になります。「調べ」は皮と皮を結ぶ麻紐のことです。

音の種類は「甲(かん)」「乙(おつ)」「頭(かしら)」「程(ほど)」「ツ」の5種類です。

### 【幸流】

能楽小鼓方の一流派。かつては幸五郎次郎流とも称した。家伝によれば、幸家は北面武士として後花園天皇に仕え、名のつて後に幸正中が「宇治幸大夫」と金春流のツレとなったと伝えるが、本来は宇治猿楽の大夫であった者が後に勢力を失って金春座にツレ・囃子方などとして、参加したものであるらしい。宇治の猿楽座はもと幸・藤若・梅若・守菊の四座であったが、早くも天文年間には廃絶し、正忠の子四郎次郎忠能は小鼓の名人宮増親賢に師事し、また金春禅鳳に能を学ぶなどして、金春座で活躍した。

忠能は兄弟子の観世豊次(小鼓方観世流の祖)と座を分かつて世襲し、小鼓方幸流の祖となった。

子の二世五郎次郎正能は名人と知られ、『幸正能口伝書』を残している。現宗家は十九世正佳。



寺井 久八郎 さん  
1958年=昭和33年卒業  
高校10回生

1939年(昭和14年)生まれ。流笛方  
森田流笛方職分家13代当主。  
12代寺井啓之の長男。(幼名)三千丸。  
1984年(昭和59年)11月。十世「寺  
井久八郎」を襲名。  
重要無形文化財総合指定保持者。日本能  
楽協会員。能楽協会会員。  
「森田流笛の会」「龍風会」主宰。  
長男宏明、次男義明とも笛方であり、共に  
重要無形文化財(能楽)保持者。  
能楽協会東京支部常議員。同副支部長  
日本能楽会理事。  
東京能楽囃子科協議会 会長等を歴任。  
2009年(平成21年)「旭日双光賞」受  
賞  
アメリカ 韓国 タイ 中国等の海外公演  
に参加。  
笛への理解の為 各地にて笛についての「公  
演」及び「笛を聴く会」を催す。  
音楽分野においては「ファッションショー」  
のバックミュージックやテレビ、映画の音楽等  
多くの作品に参加。

「笛を聴く会」の公演には、故・高田宮憲  
仁殿下においては毎回参加の力の入れようであ  
った。  
能楽以外に詩作、随筆等の作品を発表して  
おり、東京作家クラブ会長でもある。

【笛】

能に使用される笛(能管)は、竹でできた横  
笛です。一尺一寸(約40センチ)です。  
四拍手の中で、唯一旋律楽器であるにもか  
かわらず、能では、メロディよりもリズムを  
主として演奏します。

このような笛の奏法は、能の囃子方の特色  
です。

息を入れる穴と指穴が7つあり、息を入れ  
る穴と初めの指穴の間にノドという言う薄い  
笛を挿入することにより世界でも類を見ない  
低音から高音までの音階を無段階で出すこと  
が出来ます。

【その他】

寺井家は江戸時代六代將軍徳川家宣によ  
り、自身の能楽のお相手として召し抱えられ、  
明治時代になるまで武鑑「江戸時代に出版さ  
れた大名や役人を記した年鑑形式の紳士録」  
にその名(久八郎 隠居名勘兵衛)が見え  
ます。

本人からのコメント

高校3年の時に写真部を作り部長となる、  
文化祭の節 部室展示は評判になった。



村上 信夫 さん  
1972年=昭和47年卒業  
高校24回生

1953年京都生まれ。元NHKエグゼク  
ティブアナウンサー。

明治学院大学社会学部卒業後、1977  
年NHK入局。

「おはよう日本」「ニュース7」などを担当。  
2001年から11年に渡り、『ラジオビタ  
ミン』や『鎌田實いのちの対話』などNHK  
ラジオの「声」として活躍。

現在は、全国を公演で回り、「嬉しい言葉  
の種まき」をしながら、文化放送「日曜はが  
んばらない」月刊『清流』連載対談などで、  
新たな境地を開いている。

東京・恵比寿で毎月1回「村上信夫のト  
クライブ」を開催。

各地で『ことば磨き塾』主宰。  
<http://nurakaminobuo.com>

本人からのコメント

本郷高校に入っていないければ、いまのボクは  
ありません。

公立高校に不合格で、路頭に迷ったボクを  
救いだしてくれたのは、当時の松平頼明校長  
の柔和な笑顔でした。

以来、どんなときも、笑顔でいるようにし

ています。

「作り笑顔」でも構いません、笑顔を意識して作っているうちに、自然に笑顔が出るようになります。

自分に嬉しいことばを使えば、笑顔になります。



三遊亭 貴楽 さん

1974年=昭和49年卒業  
高校 26 回生

落語家。本名は菅原雅仁【学生時代は佐藤雅仁】

1956年生まれ。円楽一門会に所属する。現在、東京都板橋区在住。

出囃子は『東京音頭』。本郷高校卒業後、駒澤大学経済学部に入学。

大学では落語くらぶに所属していた。駒澤大学在学中に、5代目三遊亭圓楽に入門。

1978年（昭和53年）3月 入門  
1982年（昭和57年）3月 二ツ目に昇進

1987年（昭和62年）3月 真打ちに昇進  
〈出演番組〉

日本テレビ 「笑点」 若手大喜利 「びつくり日本新記録」

フジテレビ 「らくいん六本木」  
ラジオ日本 「NO. 1」

〈CM〉

熱海観光協会

静岡 田丸屋のワザビ

日本香堂 毎日香

本人からのコメント

まさか私が嘶家になるとは、誰も思っていなかったと思います。

現在は、やはり母校の駒澤大学で体育会ラクビー部の総監督をしながら、少年院への慰問、東日本大震災被災地での落語会などを行っています。

そろそろ「人の為」と言うとおこがましいですが、自分の人生の足跡を反省しつつ、人に話せる歳になったようです。

原点はやはり本郷高校に有った様に思います、あの頃の本郷、メチャメチャだったけど楽しかったな。



米山 知良 さん

1993年=平成5年卒業  
高校 45 回生

1975年生まれ。カーデザイナー。

本郷高校デザイン科を卒業後、東海大学でインダストリアルデザインを学ぶ。

その後、東京コミュニケーションアート(T

CA)に入學し、フランスのストレージカレッジにてミシランワークショップに参加。唯一の日本人として、「パリシヨ」にて作品展示

の後、国内自動車メーカー(ダイハツ)に就職。書籍掲載実績

「Ignition」(中村堂)

「時代の最先端で活躍するカーデザイナー」19人の熱きインタビュー」に出演 等

本人からのコメント

私の人生で一番大きく影響していることは、小さな頃からの夢である「カーデザイナーになること」を実現するために、本郷高校デザイン科で3年間デザインを学んだことです。

デザイン科では学生の意識が高く、先輩、後輩共に切磋琢磨しており、そんな環境で学んだことが入学時と卒業時では、私の意識は大きく変化していきました。

それと、当時デザイン科は1年〜3年まで1クラスずつしかありませんでした。その中で1年後輩の北原宏晃君【河口湖 北原ミュージアム総支配人】とは、社会人になった現在でも交流があり、父で先輩でもある北原照久氏【横浜プリキのおもちゃ博物館館長】とも家族ぐるみでとても仲良くもらっています。

北原照久氏には、弊社やグループ会社で講演会をやっていたこともありました。

本郷高校で学んだことで「カーデザイン」の夢が叶い、友人にも恵まれ、ビジネスにも繋がりが、卒業して20年以上経った今、本当に本郷高校出身であることを誇りに思います。

# 同期の輪

2013年■平成25年卒業（高校65回生）

## 成人の集い

### 感謝

新井 達也

昨年の5月23日、我々高校65回生の成人の集いが行われました。

巣鴨駅に着くとまず学校に立ち寄りしました。卒業時に建て替え中であった新校舎は完成し、時の流れを感じながら会場に向かいました。はじめは、委員長としての開会のあいさつを控えていて、また先生方や同級生達との久しぶりの再会に、緊張していました。同級生の元気さの中であいさつを無事終えて、お酒を

酌み交わしすぐに高校時代のように話が弾みました。

我々の学年カラーは赤で、色の如く良く言えば明るく元気。でも元気すぎてとても手のかかる学年でした。中学から高校へと年を二つ重ねるごとに先生方のご指導のもと少しずつ成長していったことが思い出されました。そして、友達と中学、高校時代の色々な出来事を話し懐かしさを感じながらも、それぞれの大学生活の話の中で一歩ずつ未来に向かって歩みを進めているのだと感じました。学年カラーは卒業しても変わらず、終始明るく元気な宴となりました。私は、これから社会に出るにあたって本郷の学園生活で培われた人間関係を築く力を、これからも大切にしていきたいと思いました。また、「成人の集い」を通して感じられたのは、中学、高校での生活でやりたいことに熱中出来たことがそれぞれの



個性、強みになっていくことです。そんな環境がある本郷に入学を出来て幸せでした。

なんとか委員長の大任を果たすことが出来、頼りない私にかわり準備をすすめてくれた同期の仲間へ感謝しています。そして、この「成人の集い」は毎年同窓会の諸先輩方のご尽力で開催されています。縦のつながりがありがたく感じる事ができました。この場を借りて、同窓会の諸先輩方、理事長先生、校長先生、恩師をはじめ学校関係の方々に感謝申し上げます。

1974年 昭和49年卒業（高校26回生）  
還暦の集い

機械科 岩崎 一

「還暦の集い」を開催いたしました。

平成28年2月27日（土）昼12時より。本郷高等学校巣鴨駅側校門前

に集合との事。校内見学の後、午後1時より下記にて開催。

会場／三菱養和会巣鴨スポーツセンター本館2階レストラン  
バルテールにて。立食  
代表幹事／普通科・立入健司  
090・3579・5867  
幹事／機械科・平野隆之  
090・7207・2127

日に日に温かくなって行く2月27日（土）でしたが、ここ巣鴨は寒風の強い土曜日となりました。校門前に、集合時間30分前に着きました。が、だれ一人おらず、時間をまちがえたかと思いました。少し時間をつぶして5分前に戻ると10人位、同窓生らしきメンバーが集まっていました。卒業してもう42年！時代の流れが早いのか？同窓生の顔を確認するには少し時間がかかりました。思ったより参加者が少ないので少し残念でした。60才と言えども、まだ、まだ、

仕事で忙しいのではないのでしょうか？幹事の立入君のメンバー確認を終え、20人位で校舎見学に移動しました。

現役の若い先生が校舎を案内してくれるとの事。とつてもううれしいかぎりです。もう、デザイン化、機械科は無く、普通科のみの進学校になってしまったのにおどろきました。機械科や実習教室は、トレーニングルームや多目的ホールに変わっていました。次に校舎内のりっぱな体育館を見学しました。非常になつかしい思い出の品々が展示されている資料室では、由緒ある歴史と伝統の高校として、今も受けつがれている思いがいたしました！エレベーターで上へ。各階の近代的な教室、図書館等、昔では考えられない設備に、又、おどろかされました。50周年記念館も1Fは生徒用の食堂に変わっていました。私達の時には食堂は無く、パンを買

う小屋と言いますか？授業が終わると全力で走ってパンを買いに行った記憶が鮮明によみがえって来ます。屋上にはピッチングコーナーもあり、恵まれた環境での運動部、すごいな〜の一言でした。一番気になっていました。高校の正門に続くいちよう並木を歩くと、古い小さな永井体育館が思い出されます。

そろそろ「還暦の集い」の会が、レストランパルテールにて始まります。全て新しくなってしまった校舎、時の流れと共に、自分の通った高校はりっぱになつてしまいました。しかし、資料館を拝見して、改めて本郷高校に愛着があり、卒業生として誇りを感じました。そんな思いが高まるなか受付をすますと、何と？恩師3人がいらしていました。普通科の坂井先生、ラグビー顧問の大浦先生、機械科の宮沢先生と、お元気な姿を拝見し、なつかしさとうれしさが、こみ上



げて来ました。集合写真も撮り、めちやめちや盛り上がりまして来ましたが、お開きの時間となりました。最後に、本郷高等学校の校歌を皆で歌い、お互いの同級生の絆を確かめ、なつかしい思い出の1ページの「還暦の集い」となりました。次回には1人でも多く同窓会に参加していただけます様、よろしくお願いいたします。

1944年 昭和19年卒業（中学17回生）  
**米寿を祝う会**

平成27年4月2日

本郷学園同窓会  
会長 南谷 修様

本郷中学17期生

代表 佐藤 元徳

この度は本中17期生の「米寿を祝う会」（2015年4月1日開催）に当たり、ご丁寧な御祝辞を戴き誠に有難う御座いました。御蔭さまで9名が相揃い乾杯、祝う事が出来ました。



会長様の祝意を伝え、その祝意の書面を出席者各人にコピーし渡し、ました処、感激一入で、誠に有難く深謝申し上げる次第です。欠席者にも会長様の書面を会の報告と共に郵

送する心算です。皆感激することでしょう。

扱て、祝杯後しばし在校時代の話に花が咲き、現在の老体を忘れる程の楽しい会に相成りました。

今後は「祝辞のお言葉」の如く健康に留意し、学園祭の再会を話合った意義ある会合に成りました事を、厚く御礼申し上げます。

敬具

## 第二回懇親会

1945年 昭和20年卒業（中学18回生）

岡田 光正

昨年の総会において、期友の皆さんも高齢を迎え、同期会も現状のまま存続するのは困難であるとの意見に達しました。

しかしながら、このまま解散するよりは、何らかの形で逢う機会を作りたいとの多くの皆さんのご意見に接しまして、毎年五月末の土曜日に

自由な形で本郷学園前の三菱養和会パルテールに集まることとしまして、第二回の懇親会が開催されました。

期友は十名ほどの集まりでしたが、皆様それぞれにご自身の近況、健康等を語り、再会を祝しました。

大塩君から昭和五十一年当時の総会の写真が渡されました。前松平先生、里見先生、三井先生も同席され、若いピチピチした皆さんでした。既に亡くなられた方も見受けられました。

岡田から、本年が終戦後七十年に当たり、その年に五年生として卒業した十八回生に対して同窓会から戦中戦後の思い出論文の提出を求められ、今里君と志田君が、これに応じ、立派な作文を提出され、銀友に掲載されているので是非、お目を通して頂きたいこと及び本年の大学受験がますます好成績であったこ



と、更に、本郷学園への受験生が多く、今後も優秀な生徒が集まると見られること、などの報告をしました。

出席者の皆さんは、なつかしい期友の元気な顔を見て思い出を造り、また来年の再会を約して、それぞれの家路につきました。(出席者〓今井義雄、今里隆、大澤善和、岡田光正、高橋正明、西野重義、檜垣順次、渡部豊一、大塩宏一郎、島田公雄)

1951年〓昭和26年卒業(高校3回生)  
**染井26回の集い**

山口 洋司

卒業後64年を経過、年一回のペースで巣鴨地藏通り大橋屋等で開催してきましたが、80歳を超えそろそろ閉会の話が出る中で、今年(平成27年)は学園文化祭のときの同窓会に合流して、開催することになりました。



9月20日(日)。地曳秀雄君の案内で、文化祭展示室、校内等を見学

した後、レストランの懇親会に参加しました。

15時からの全体パーティーは、校歌斉唱に始まり、数々の催し、酒肴を満喫しながら、ほろ酔い気分で見出し話や近況等を話し合い、楽しいひとときを過ごすことができました。

依頼されてメの挨拶を長崎二君が盛り上げて宴は終了。来年以降も同様の方式で集い、この記事を通してより多くの会員の参加を期待しつつ再会を約し、散会といたしました。

1954年 昭和29年卒業（高校6回生）

### 平成27年度

### 染井ふくの会の集い

津久田 愛之助

初秋好天の下 上野湯島「東天紅」にて

10月21日（水）正午 同期13名参

### 加開催

渡辺昭義君司会にて、はじめに前任幹事篠喜三郎君の長年にわたる労を謝し、新任幹事3名津久田愛之助、渡辺昭義、大西美代智の承認を、当日出席者全員の賛同を得、今後の会運営を託されました。

次に物故なされた学友を悼み黙祷をささげたのち、一年ぶりの友との再会を互いに慶び、暫し時を忘れて賑やかに歓談かつ美酒を酌み交わし、宴もたけなわのところ、渡辺昭義君が旧友との再会を慶び正調黒田節を朗々と吟じ、全員その喉に聞き惚れ、二層座を盛り上げてくれました。

歓談はつきませんでしたがお開きは大西美代智君の音頭で、学園の益々の発展と同窓各位の健康を祈願し、校歌斉唱のうえ、三本締めで次回再会を約し、名残惜しみつつ会場を後にいたしました。





1960年 昭和35年卒業（高校12回生）  
**同期会**

本郷高校1年2組 小泉 孝太郎

本郷高校OB会に招待していただきありがとうございます。

みなさんの雰囲気はとても温かく

て、緊張していた気持ちがすぐに和らぎました。また、気さくに話しかけてくださりありがとうございます。

大人になってからも集まることのできるの、仲が良く充実した高校生活を送っていたからなのだと感じました。

本郷高校は今も昔も変わらず明るく活気がある学校なのだなど改めて感じました。

受験校を悩んでいた私でしたが、本郷高校を選び合格を勝ち取ることが出来て本当に嬉しく思っています。

これからも先輩のつくりあげた本郷高校の名に恥じないように学校生活をおくっていきます。

※2月13日(土)午後開催。

同期会幹事の田嶋輝男君が、小泉君の合格を知り、誘いました。

1961年 昭和36年卒業（高校13回生）  
**同期会**

齊藤 毅

1年ぶりの再会、本郷を卒業して55年皆無事であることを喜んでおりました。2015年11月7日、いつものホテル・メトロポリタンエドモントにて楽しいひとときを過ごしました。

まずは、最近の季節の変化がおかしいことが話題になりました。現役として働いている者もありますが、多くの同級生はすでに年金生活をしており、異常気象に戸惑っているようでした。

後半は、今回参加できなかった同級生の話題も含め、本郷時代の下校後の話や休憩中の行動に花が咲いておりました。

1年に1回の集まりのほか、有志による集まりも良いのではという発言もあり、今後検討していくことに

なりました。それぞれの生活を大切にしながら今後も元気に再会することを約して散会しました。



1966年 昭和41年卒業（高校18回生）  
同期会

小倉 義雄

思えば、私達も本郷高校を卒業して、早いもので50年になりました。今年（平成27年）は、2年前と同様、11月7日（土）巢鴨「土風炉」にて、恩師の沢辺・坂井先生と他のクラスの小久保・滝本君も参加しまして、計26名にて同期会を開催しました。遠方より参加してくれた人もおり、大変楽しく一日を過ごすことができました。皆さんからの近況報告や高校時代の思い出が語られ、昔の応援部の音頭により全員で校歌を大声で歌ったりしました。そして先生方へ、我々の卒業50年を記念しての一言を記載した色紙と手土産を贈りました。二次会（3時間）もあつという間に過ぎまして、手締めを行い非常に楽しく終了しました。

二次会も、両先生も参加され、近

くのスナックに多数参加し、話し足りなかつたことやカラオケなどで時を忘れて過ごすことができました。



幹事の皆様大変ありがとうございました。最後に、お互い健康には十分気を付けるとともに来年以降の再会を約し、母校や同窓会のますますの発展を祈念しまして散会いたしました。

1983年 昭和58年卒業（高校35回生）  
**同期会**

相場 秀雄

前回の同期会から約1年近くがたち、平成27年8月22日（土）、いつもの巣鴨・土風炉にて、恩師の小倉先生を交えた、少人数ではありましたが、同期会を行いました。今のご時世、ソーシャルメディアなどで同級生の近状は把握できつつも、さすがに50歳オーバー！ 社会的地位なども社長さん、部長さんと、みんな偉くなり、なかなか都合が合わなくなるのも当然ですが、少人数でも集まってみて、酒が入れば、もう昔話に

花が咲く!!

当時ではNGなことも今となれば、そんなこともあったなあと、懐かしい思い出話に。顔も体形も変われども、中身は当時の同級生であり、卒業して、それ以来初めて会う参加者もいたり、あつという間の2時間でした。

母校も当時からすると、グラウンドが人工芝になったり、機械科の校舎はなくなったりと、昔の面影はあるものの、変貌していて、32年の時代の変化を感じました。巣鴨駅周辺の街並みも、時代の流れとともに、変化していて、昔の面影を残すところは一部となってしまうと、通っていた当時の記憶も懐かしく感じました。

そして、また1年後少しでも多くの同級生との再会を約束しての別れとなりました。

本郷学園の卒業生として、日々精進して、恥じないようにと思います。



最後に、母校の発展、恩師と同級生の健康を祈念して！

## 第三回本郷医師の会

本郷医師の会幹事長  
杉下和行

1996年＝平成8年卒業  
(高校48回生)

平成27年11月28日に第三回本郷医師の会を開催致しました。会長である岡本明久先生からご挨拶をいただき開会となりました。岡本先生からは、昨年は5名の参加でしたが今年は18名と非常にたくさんの方々にご参加いただいたことへのお礼がまずあり、さらに本郷学園同窓会から本郷医師の会を公認していただいたことをお話いただきました。

岡本先生のご発声で乾杯がなされると少し堅苦しかった場の雰囲気が一転し、和やかな雰囲気でお話が弾むようになりました。診療の都合で遅れた方もいらっしゃったのですが、全員が集まったところで参加者の皆様から近況報告をしていただきました。現在の専門分野のお話

を中心にした方もいらっしゃいましたし、本郷学園での部活動の思い出やご指導いただいた先生方のエピソードを話された方もいらっしゃいました。

歓談中には検診の意義についてエビデンスに基づいた高度な議論を交わしていた方々もいらっしゃいました。また、偶然同じ地域で診療をしているの病院勤務医と開業医の新たな医療連携のつながりも複数できたようです。

医学部の学生さんも2名参加していただいたのですが、先輩医師たちからの各専門分野のアピールを熱心に聞いていたようでした。

和気あいあいと集合写真の撮影をしまして、その後しばし歓談の時間が

がありました。

あつという間に時間が迫ってきましたので最後に私から改めて参加のお礼と来年の再会をお願いさせていただきます、閉会となりました。

来年も11月の最終土曜日に第四回本郷医師の会を開催しますので、この記事を読まれた医師あるいは医学生の方は是非ご参加下さい。「本



# トピックス

## 70年ぶりの卒業式

郷医師の会」で検索していただくホームページが表示されます。そこ

ご連絡いただけましたら幸いです。同日にご都合が悪い方でも名簿に登

「お声掛けを

致しますので遠慮なくお問い合わせ下さい。

岡田光正

1945年11昭和20年卒業  
(中学18回生)

二十七年十二月五日に、紅白の幔幕の張られた立派な式場が設けられ、厳粛に行われました。

今ではあり得ないことですが、當時を思い出しますと、次のような

種の行事などがありました。私も旧制中学十八期生につきましても、昔を思い出す記念すべき年になりました。

それは、同期の方々の集まりの席におきまして、「卒業はしたんだけれども、卒業証書をもらっていない。」との話が出てまいりました。

そこで、学校にお話ししましたところ、快くお引受け頂きまして、七十年ぶりの卒業式が、平成



松平理事長から卒業証書を受領する今里隆君



松平理事長から卒業証書を受領する楢垣順次君

## トピックス

## 父の自分史

状況でした。

昭和二十年の終戦の年の三月十日から十一日の未明にかけての東京は、B29爆撃機数百機による超低空の大空襲を受け、ほとんどが焼野原となつてしまいました。本郷学園の校舎も焼かれ、在校生の多くの方々の家も焼かれ、亡くなった方

昨年四月に80歳となり、亡き父の歳を超えた。一念発起、父の未完の自分史を完成させようと思ひ立った。というのは、父の書いた「わがふるさと」と題する自分史らしきものの原稿が見つかったからだ。――父・金一郎は借金を抱えた貧し

私ども中学五年生は、昭和十九

年の四月から、昭和二十年の六月まで(三月でなく、現体制のまま六月一杯まででした。)学校に来ることなく、陸軍造兵廠に勤労働員されました。職場も、たくさんに分けられ、また、日勤と夜勤に分けられていましたので、全体をまとめることは困難でした。

## 関 貞三

1954年 昭和29年卒業  
(高校6回生)

い農家の6人兄弟の長男に生まれました。長ずるにつれ、このままでは一生働き続けても生涯年収はほぼ定まっており、将来のことを考えると暗澹たるものがあつたようだ。18歳の時に出稼ぎで入った東京の商店で「甘納豆製造」という天職に出合

昭和二十年の三月も終わりに近い日だったと思いますが、先生から「卒業式をやるので、指定された日に学校の校庭に集まれ。」とのお話がありました。この伝達が不十分になつてしまったことは、当時の混乱の状況からみて、あきらかであつたと思います。

い、生家を出、下働き―独立―小さな会社を起すまでが記されていた。

ところが、この文章も昭和20年8月15日の天皇の玉音放送を、戦火で焼け出され、戻った郷里で聞いたところで終っている。父親が43歳の時である。その後を筆を断つた理由は判らぬが、我々子供6人を抱え生活再建に不眠不休の時代だったのだろう。

しかし、戦後の経済復興とともに生活が安定してくると、再び年譜や短い文章などの記録を残すようになった。これらは父の古びた堅牢な革の鞆の中から見つかった。ただ71歳から79歳までの記録は殆ど残されていない。空白をなんとか埋めたいと思うようになった。

幸いにも84歳を頭に兄妹6人は健在である。その連合い等も父の思い出を語り合えば空白を埋められるのではないかと考え、兄妹らに父の自分史完成を諮った。

―兄妹、連合いら9人が実家に集まったのは6月中旬のことだった。テープレコーダーを用意し、進行役は長兄が務めた。父についてそれぞれが初めて聞く話や、思い違いに気付くなど二時間ばかりは和気あいあいのうちに終わった。

肝心の造本については、言い出しっぺの私が担当することになった。私は自費出版依頼も考えたのだが部

数が多くなる。名もない人間の自分史など読む人もいないだろうし、貰っても迷惑だろう。結局、パソコン打ちの和綴じ本で、兄妹分6冊を私が手造りすることにした。三年前、地元練馬区の「和綴じ本を作ろう」という講座を受講したことが役立った。―出来上がった内容は、父が残した「わがふるさと」の文章60頁と、子・連合いらで父を偲



んだ対談20頁。それに年譜、写真の20頁ほどが加わり1000頁を超え、父の生から死までの記録となった。タイトルは「関金一郎の生涯」とした。

振り返れば、昨年四月に父の自分史完成を思い立ち、父の文章の整理、慣れないパソコン打ち。六月に兄妹らの対談、テープからの文章起こし。年譜の整理、写真の選択。八月二十二日の父の祥月命日までの完成を目指した忙しい日々。出来上がった冊子を実家の、父の仏前に供えた時は感無量となった。

ただ、現在も右手の中指は曲がったままで、時おり疼く。パソコン打ちの後遺症だ。しかし、これは父が私にくれた勲章だと思っている。

**会員相互の意見と親睦**

● 定期総会開催 日時：6月18日(土)15時。会場：母校1号館2階会議室

● 総会後の会員懇親会開催 日時：6月18日(土)17時。会費 3,000円。会場：三菱養和会「巣鴨スポーツセンター」内

● 2014年平成26年3月卒業生(高校66回生)「成人の集い」(卒業2年後に成人となるお祝の同期会)開催 日時：5月21日(土)14時半。会費 1,000円。会場：三菱養和会「巣鴨スポーツセンター」内

● 理事懇親会開催 日時：4月16日(土)17時、10月15日(土)17時。会費 3,000円。会場：いずれも三菱養和会「巣鴨スポーツセンター」内

● 本郷祭(学園文化祭)同窓会展示室(ブース)開設 日時：9月17日(土)、18日(日)

● 本郷祭同窓会懇親会(サロン)

開催 日時：9月18日(日)15時。会費 3,000円。会場：三菱養和会「巣鴨スポーツセンター」内

● 還暦の集いなど同期会の開催支援

**会誌の発行**

● 「銀友」45号 発行日：5月1日。発行部数：15,000部。A5版

**母校の後援**

● 各分野における全国規模の大会等で活躍した生徒を表彰

● 卒業生全員に記念品贈呈

**会員名簿の整理**

● 同窓会会員名簿の管理とそれにとまなう新卒業生・住所変更の登録、会費納入者・物故者の記録および「銀友」掲載用原稿作成など必要な各種事務処理 業者に委託

**ホームページの管理**

● 同窓会行事の告知・開催報告ならびに更新、同窓会誌「銀友」の転載、住所変更受け付け、同期会等の開催告知・報告掲載など

**その他の事業**

● 学園教職員代表との懇親会開催

● 入学・卒業式、体育祭など学校行事への役員代表の出席、参観

**会議の開催**

● 理事会開催 日時：4月16日(土)15時、10月15日(土)15時。会場：いずれも母校1号館2階会議室

● 運営委員会開催 日時：4月16日(水)13時、5月21日(土)11時、6月18日(土)13時、7月16日(土)15時、9月3日(土)15時、10月15日(土)13時、11月19日(土)15時、12月17日(土)15時、1月21日(土)15時、2月18日(土)15時、3月18日(土)15時。会場：いずれも母校4号館会議室

● 2015年平成27年3月卒業生(高校67回生)「成人の

集い「実行委員会開催」日  
時：2月18日(土)13時。会  
場：母校4号館会議室  
●2017年11平成29年3月  
卒業生(高校69回生)「成  
人の集い」実行委員会結成  
11日時：3月15日(水)13  
時。会場：母校教室

— 同窓会からのお願い —

年会費納入にご協力ください

一口：2,000円以上

同窓会の運営はすべて皆様の会費で行っております。ぜひともご協力ください。

振込取扱票を同封しております。インターネットバンキングを含む銀行振り込みも可能です。その際は会員番号(振込取扱票に印字してあるお名前の下の8桁の数字)か、氏名と卒業年(昭和はS、平成はHと表記してください)のどちらかを明記してください。

銀行口座：三菱UFJ銀行駒込支店

普通口座0821142

本郷学園同窓会

2016年度収支予算案  
2016年4月1日～2017年3月31日

(単位：円)

科 目	収 入	科 目	支 出
前年度繰越金	3,580,780	総会(1回)、理事会(2回)開催	
新卒者同窓会入会金	3,000,000	資料作成費	120,000
同窓会年会費	2,300,000	懇親会費	290,000
成人の集い	390,000	会誌発行費(15,000部)	2,900,000
[ 会費	[ 140,000	[ 銀友制作費	
[ 学校側負担金	[ 250,000	[ 宛名印刷費	
本郷祭同窓会懇親会会費	150,000	[ ラッピング費	
懇親会会費	280,000	[ 発送費	
[ 理事会	[ 140,000	[ 編集諸経費	
[ 総会	[ 140,000	行事部門	1,800,000
雑収入	0	[ 成人の集い	[ 600,000
		[ 本郷祭同窓会出展費	[ 200,000
		[ 本郷祭同窓会懇親会費	[ 150,000
		[ 同窓会開催支援費(活性化)	[ 50,000
		[ 活躍した生徒への激励費	[ 450,000
		[ 卒業生記念品費	[ 150,000
		[ 卒業生同窓会賞費	[ 0
		[ 学園懇親会費	[ 200,000
		[ 父母の会交歓会費	[ 0
		会員名簿保守管理費	260,000
		ホームページ年間契約料	70,000
		運営委員会交通費補助	180,000
		事務費	150,000
		[ 備品費	
		[ 消耗品費	
		[ 資料作成費	
		[ 通信費	
		[ 雑費	
		支出合計	5,770,000
		次年度繰越金	3,930,780
合 計	9,700,780	合 計	9,700,780

**会員相互の意見と親睦**

- 定期総会Ⅱ日時：6月20日（土）15時。会場：母校1号館2階会議室
- 定期総会後の会員懇親会開催Ⅱ日時：6月20日（土）17時。参加者数：47人。会費3,000円。会場：三菱養和会「巣鴨スポーツセンター」内
- 2013年Ⅱ平成25年3月卒業生（高校65回生）「成人の集い開催Ⅱ日時：5月23日（土）14時半。参加者数：142人（65回生114人、理事長・校長・担任教諭など学園関係者13人、同窓会関係者15人）。会費Ⅱ1,000円。会場：三菱養和会「巣鴨スポーツセンター」内
- 理事会後の理事懇親会開催Ⅱ日時：4月18日（土）17時、参加者数：24人。10月17日（土）17時、参加者数：22人。会費Ⅱ3,000円。会場：三菱養和会「巣鴨スポーツセンター」内

**本郷祭（学園文化祭）同窓会**

展示室（ブース）開設Ⅱ開設日：9月19日（土）、20日（日）。会場：母校4号館2階選択教室J

**本郷祭同窓会懇親会（サロン）**

開催Ⅱ日時：9月20日（日）15時。参加者数：53人。会費Ⅱ3,000円。会場：三菱養和会「巣鴨スポーツセンター」内

**会誌の発行**

「銀友」44号Ⅱ発行日：5月1日。発行部数：15,000部。A5版

**母校の後援**

各分野における全国規模の大会等で活躍した生徒46人（10件）を表彰

**卒業生全員323人に記念品として印鑑を学園ならびに父母の会と共同で贈呈**

**会員名簿の整理**

同窓会会員名簿の管理とそれにとまなう新卒業生・住所変更の登録。会費納入者・物故

者の記録および「銀友」掲載用の原稿作成など必要な各種事務処理Ⅱ業者に委託

**ホームページの管理**

同窓会行事の告知・開催報告ならびに更新。同窓会誌「銀友」の転載。住所変更受け付け、同期会等の開催告知・報告掲載など

**その他の事業**

● 学園教職員代表との懇親会開催Ⅱ同窓会より12人参加。日時Ⅱ11月25日（水）18時より。会場：「巣鴨スポーツセンター」内。学園側からは理事長、常務理事、校長、副校長、高・中教頭、母校OB教諭（同窓会担当）、事務職員が参加。

● 入学・卒業式、体育祭など学校行事への役員代表の出席、参観

**会議の開催**

● 理事会開催Ⅱ日時：4月18日（土）15時。10月17日（土）15時。会場：母校1号館会議室

● 運営委員会開催 日時：4月18日(土)13時、5月23日(土)11時、6月20日(土)13時、7月18日(土)15時、9月5日(土)15時、10月17日(土)13時、11月21日(土)15時、12月19日(土)15時、1月16日(土)15時、2月20日(土)15時、3月19日(土)15時。会場：いずれも母校4号館会議室。

● 2014年 平成26年3月卒業生(高校66回生)「成人の集い」実行委員会開催 日時：2月20日(土)13時。会場：母校4号館会議室

● 2016年 平成28年3月卒業生(高校68回生)「成人の集い」実行委員会結成 日時：3月15日(火)13時。会場：母校教室

2015年度収支決算報告書  
2015年4月1日～2016年3月31日

(単位：円)

科 目	収 入	科 目	支 出
前年度繰越金	2,991,481	総会(1回)、理事会(2回)開催	
新卒者同窓会入会金	3,230,000	資料作成費	115,152
同窓会年会費	2,300,000	懇親会費	298,240
成人の集い	391,398	会誌発行費(15,000部)	2,870,752
会費	142,000	銀友制作費	1,531,155
学園側負担金	249,398	宛名印刷費	151,413
本郷祭同窓会懇親会会費	158,000	ラッピング費	260,103
懇親会会費	279,000	発送費	860,251
理事会	138,000	編集諸経費	67,830
総会	141,000	行事部門	1,822,978
雑収入	11	成人の集い	655,691
		本郷祭同窓会出展費	213,593
		本郷祭同窓会懇親会費	173,500
		同期会開催支援金(活性化)	48,920
		活躍した生徒への激励費	460,000
		卒業生記念品費	161,500
		卒業生同窓会賞費	0
		学園懇親会費	109,774
		父母の会交歓会費	0
		会員名簿保守管理費	264,568
		ホームページ年間契約料	68,170
		運営委員会交通費補助	183,000
		事務費	146,250
		備品費	0
		消耗品費	13,517
		資料作成費	0
		通信費	87,021
		雑費	45,712
		支出合計	5,769,110
		次年度繰越金	3,580,780
合 計	9,349,890	合 計	9,349,890

預貯金・現金明細

(単位：円)

銀行・他	預貯金残高	定期預金	次期繰越金
三菱東京UFJ銀行	3,243,158	0	
郵貯銀行	193,256	0	
現金	144,366		
合 計	3,580,780	0	3,580,780

収入の部及び支出の部について、各科目ごとに伝票・領収書等の帳票類を精査したところ、それぞれ適正に誤りなく仕訳けされ、整理されていた。また、期末での現金残高及び金融機関への預金残高も相違なく確認した。したがって、2015年度の収支決算は公正かつ妥当なものであると認め、ここに報告する。

2016年4月13日 監事 木塚順夫 熊木宏治

# 2015年度定期総会報告

千野邦雄 1973年=昭和48年卒業 (高校25回生)

日時：2015年(平成27年)  
6月20日(土)午後3時  
会場：本郷学園1号館2階会議室  
出席者：40人

司会の野田悠二理事(1972年=昭和47年卒業=高校24回生)が開会を告げ、はじめに中村允元会長など同窓会の物故者に黙祷をささげる。

続く来賓あいさつでは、松平頼武理事長、北原福二校長がそれぞれ学園の近況や各分野で活躍する生徒たちの学園生活を紹介した。

そのあと、南谷修同窓会会長(1956年=昭和31年卒業=高校8回生)があいさつに立ち、本郷学園が文武両道、自学自習、生活習慣の確立の三つの教育方針のもと実力校として着実に発展している様子を語った。なかでも大学受験で東京大学9名(現役7名)、京都大学4名(現役2名)をはじめ国立公立大学に88名(現役65名)が合格し、さらに早稲田大学165名(現役143名)、慶応大学93名(現役75名)など多くの有名私立大に多数合格していることを紹介した。終わりに同窓会活動へのさらなる協力を呼びかけた。

引き続き議事に入る。  
会則により議長を南谷会長が務め、議長が総会の書記に小室能広副会長(1956年=昭和31年卒業=高校8回生)、千野邦雄理事(1973年=昭和48年卒業=高校25回生)をあわせて総会の議事録署名人に梶徳治理事(1968年=昭和43年卒業=高校20回生)、野口貴洋理事(1983年=昭和58年卒業=高校35回生)を指名した。

## 第1号議案 理事・役員人事の件

同窓会役員3名の任期が本定期総会をもって満了する。議長から、別紙総会資料1頁(本郷学園同窓会役員(案))、「銀友」44号38頁掲載)が提案され、秋元幹夫副会長(1955年=昭和30年卒業=高校7回生)が説明した。そのなかで、まず次期会長に南谷修会長を、去る4月18日(土)の2015年度第1回理事会で、再選したことを報告した。また玉川昭副会長(1945年=昭和20年卒業=中学19回生)の相談役就任を含む各役員を会長が委嘱したことを報告し、あわせて監事の選出にあたり、木塚順夫監事(1956年=昭和31年卒業=高校8回生)と辞任を申し出ている篠喜三郎監事(1954年=昭和29年卒業=高校6回生)の後任として熊木宏治理事(1960年=昭和35年卒業=高校12回生)の2人を推薦し、いずれも全会致で承認した。

## 第2号議案 2014年度事業報告の件

議長から、別紙総会資料2頁(2014年度事業報告)、「銀友」44号33頁掲載)が提案され、秋元副会長が各事業の概要を報告し、さらに別紙総会資料3頁「2014年度表彰報告」(「銀友」44号35頁掲載)について秋元副会長、別紙総会資料4頁「2014年度定期総会報告」(「銀友」44号36頁掲載)について市倉洋一副会長(1960年=昭和35年卒業=高校12回生)がそれぞれ説明した。

## 第3号議案 2014年度収支決算の件

議長から、別紙総会資料5頁の「2014年度収支決算報告書」(「銀友」44号34頁掲載)が提案され、収支決算について斉藤毅副会長(1961年=昭和36年卒業=高校13回生)が報告した。次に木塚順夫監事が4月12日(日)に

行った2014年度会計監査について「会計処理は公正かつ妥当なものである」と報告し、これを了承した。

ここで第2号、第3号議案を語り、いずれも全会致で承認した。

## 第4号議案 2015年度事業計画(案)の件

議長から、別紙総会資料6頁の「2015年度事業計画(案)」(「銀友」44号31頁掲載)が提案され、秋元副会長が各事業の概要を説明した。さらに「成人の集い」など同窓会の活性化事業について井上栄三郎副会長(1958年=昭和33年卒業=高校10回生)、また「銀友」44号の内容について市倉副会長、同窓会ホームページの運用、管理について野口理事が、それぞれ説明した。

## 第5号議案 2015年度収支予算(案)の件

議長から、別紙総会資料7頁の「2015年度収支予算(案)」(「銀友」44号32頁掲載)が提案され、斉藤副会長が説明した。

ここで第4、第5号議案を語り、ともに全会致で承認した。

議事終了後、出席者からの発言が懇談的であり、司会が総会の閉会を宣言した。

この議事を明確にするため、別紙総会資料を添付して本議事録を作成し、議長ならびに議事録署名人が下に署名する。  
2015年6月20日 本郷学園同窓会

議長 南谷 修  
署名人 梶 徳治  
署名人 野口 貴洋

## 2015年度 本郷祭報告

米澤 潤

1980年 昭和55年卒業（高校32回生）

2015年度の本郷祭は、「草莽<sup>そうもうくつき</sup>崛起（吉田松陰の言葉）〜諸君、狂いたまえ！」をスローガンに9月19日（土）、20日（日）の両日開催されました。

イベントで生徒会企画の模擬授業やフォトコンテスト、展示企画及び美術コンテストが各教室で行われ、中庭などの本郷市では、クラブ活動の各々が模擬店を出店し、お客様に満足度を投票してもらった「本郷グランプリ」も開催されました。グラウンドや体育館では運動部の招待試合を多くの方々が見戦していました。

同窓会が開設したブースでは、各界で活躍する卒業生6人を紹介するパネル「本郷の先輩たち」をはじめ、卒業アルバムや在学時のバッチなど思い出の品々を展示しました。OBの中には家族に自分のアルバムを懐



かしそうに説明している方もおりました。

20日午後の同窓会サロン（懇親会）では、新旧の卒業生の交流が行われました。在校生の応援委員会のメンバーも駆け付けてくれ、一緒に校歌を斉唱する一幕（写真下）もあり、部活OB会やクラス会を開く絶好の場になるなど、つくづく思いました。

足の踏み場もないほど来校者でにぎわう本郷祭の運営を一切任されて

いる実行委員長が「大勢の対応がとて大変でした」と、満足げに語る姿から、先輩たちのたくましい活躍が確認でき、久しぶりにさわやかな気分になりました。

最後に、このパワーを卒業する方は「成人の集い」に、すでに卒業された方々は「同期会」での輪につなげてみてはいかがでしょうか。



# 2015年度表彰報告

各分野における全国規模の大会等で活躍した生徒46人(10件)を表彰

1. つくばScience Edge 2015に「ばね振り子の周期について」のテーマで応募し日本語ポスターセッション賞 第1位に<(高校)松原遼太郎君(中学)生稲直希、窪田大飛、山中零、秋吉翔太君>

(5人:4月8日  
表彰)



2. 平成27年度「情報通信の安心安全な利用のための標語」募集に「送信一秒ロゲース」の標語を応募し佳作に<(高校)輿石尚己君>(7月10日表彰)



3. 物理チャレンジ2015「第2チャレンジ」に進み銅賞を受賞<(高校)三上紘史君>(9月5日表彰)



4. 第55回全国中学校水泳競技大会「男子200mバタフライ」に出場<田辺凌君>(9月5日表彰)



5. 高円宮杯第67回全日本中学校英語弁論大会「決勝大会」に出場<上原裕生君>(12月5日表彰)



6. 第35回東日本中学校ラグビーフットボール大会に出場、3位に<平井泰知、中嶋大、福澤慎太郎、伊藤大智、橋本大吾、吉岡麟太郎、壘田滉貴、近野ハフィア太郎、村井勇大、高橋陽太、藤井禎、岡田慎之助、小野洸佑、小野正義、大崎一真、鈴木良治、服部俊蔵、吉田朝陽、武田颯馬、安齋裕己、山下明純、矢吹伊織、沖本侑也、小林侃生、岡本大輝君>

(25人:12月5日表彰)

7. 公益社団法人ジュニア・アチーブメント日本「ヤマト運輸高校生経営セミナーコンテスト」最終発表会に出場<倉田怜於、安藤稔君>

(2人:3月19  
日表彰)



8. 朝永振一郎記念第10回「科学の芽」努力賞を「蠟燭の振動メカニズムの解明」の研究課題で受賞<(中学)榎本宗一郎君>

(3月19日  
表彰)



9. 2016年度日本物理学会第12回Jrセッションに「板にできるクラドニ図形について」の研究課題で出場<(高校)岸本大輝君(中学)榎本宗一郎、原田大希、高橋拓実君>

(4人:3月19  
日表彰)



10. 2016年度日本物理学会第12回Jrセッションに「ニュートンビーズの発生と螺旋の関係」の研究課題で出場<(高校)栗林圭一郎、小正拓実君(中学)白居幸希、伊東諒大、夏目一樹君>(5人:3月19日表彰)



# 本郷学園同窓会役員(案)

任期：2018年度定期総会まで  
○印は新任

役職	氏名	卒業年	卒業回期	役職	氏名	卒業年	卒業回期
名誉会長				○	砂泊照男	1971 (昭和 46) 年	高校 23
	松平頼武	(学園理事長)			田中良一	1972 (昭和 47) 年	高校 24
会長					中嶋健至	1973 (昭和 48) 年	高校 25
	南谷 修	1956 (昭和 31) 年	高校 8		石井聖一	1973 (昭和 48) 年	高校 25
副会長					平野隆之	1974 (昭和 49) 年	高校 26
	秋元幹夫	1955 (昭和 30) 年	高校 7		立石嘉男	1976 (昭和 51) 年	高校 28
	小室能広	1956 (昭和 31) 年	高校 8	○	泉 昇一	1977 (昭和 52) 年	高校 29
	井上栄三郎	1958 (昭和 33) 年	高校 10		矢作 明	1979 (昭和 54) 年	高校 31
	市倉洋一	1960 (昭和 35) 年	高校 12		遠藤千秋	1981 (昭和 56) 年	高校 33
	斉藤 毅	1961 (昭和 36) 年	高校 13	○	大場義徳	1981 (昭和 56) 年	高校 33
監事					山本一博	1982 (昭和 57) 年	高校 34
	木塚順夫	1956 (昭和 31) 年	高校 8		竹野谷茂	1983 (昭和 58) 年	高校 35
	熊木宏治	1960 (昭和 35) 年	高校 12		佐々木晋一	1985 (昭和 60) 年	高校 37
顧問					佐藤和明	1987 (昭和 62) 年	高校 39
○	佐久間昭浩	(校長)			岡本明久	1988 (昭和 63) 年	高校 40
	山内英夫	1951 (昭和 26) 年	高校 3		移川真男	1990 (平成 2) 年	高校 42
相談役					下村大樹	1993 (平成 5) 年	高校 45
	宮本幸雄	1942 (昭和 17) 年	中学 15		野村竜太	1994 (平成 6) 年	高校 46
	玉川 昭	1945 (昭和 20) 年	中学 19		新野文隆	1994 (平成 6) 年	高校 46
	植松隆吉	1951 (昭和 26) 年	高校 3		庄野直哉	1995 (平成 7) 年	高校 47
運営委員					杉下和行	1996 (平成 8) 年	高校 48
	新澤米次	1956 (昭和 31) 年	高校 8		荻山温夫	2004 (平成 16) 年	高校 56
○	竹村義教	1960 (昭和 35) 年	高校 12		平 雷太	2004 (平成 16) 年	高校 56
	山際幸雄	1966 (昭和 41) 年	高校 18		池田貴生	2005 (平成 17) 年	高校 57
	梶 徳治	1968 (昭和 43) 年	高校 20		金尾晋一郎	2006 (平成 18) 年	高校 58
	赤井健郎	1970 (昭和 45) 年	高校 22		黒部直樹	2006 (平成 18) 年	高校 58
	野田悠二	1972 (昭和 47) 年	高校 24		御子柴怜志	2006 (平成 18) 年	高校 58
	千野邦雄	1973 (昭和 48) 年	高校 25		岡本健太郎	2007 (平成 19) 年	高校 59
	立入健司	1974 (昭和 49) 年	高校 26		高宮成将	2007 (平成 19) 年	高校 59
	米澤 潤	1980 (昭和 55) 年	高校 32		田中大貴	2007 (平成 19) 年	高校 59
	野口貴洋	1983 (昭和 58) 年	高校 35		石田 武	2008 (平成 20) 年	高校 60
○	小池武次	1983 (昭和 58) 年	高校 35		塩野智也	2008 (平成 20) 年	高校 60
理事					西村友吾	2008 (平成 20) 年	高校 60
	高野正美	1944 (昭和 19) 年	中学 17		宮島大貴	2009 (平成 21) 年	高校 61
	野木惣市	1945 (昭和 20) 年	中学 19		佐藤明彦	2009 (平成 21) 年	高校 61
	田島利男	1947 (昭和 22) 年	中学 20		柳田 将	2009 (平成 21) 年	高校 61
	望月敏郎	1951 (昭和 26) 年	高校 3		松井洋輔	2009 (平成 21) 年	高校 61
	地曳秀雄	1951 (昭和 26) 年	高校 3		吾郷友紀	2010 (平成 22) 年	高校 62
	津久田愛之助	1954 (昭和 29) 年	高校 6		山田 駿	2010 (平成 22) 年	高校 62
	渡辺昭義	1954 (昭和 29) 年	高校 6		若林 司	2010 (平成 22) 年	高校 62
	大西美代智	1954 (昭和 29) 年	高校 6		植草太郎	2011 (平成 23) 年	高校 63
	岡本信也	1958 (昭和 33) 年	高校 10		佐藤祐介	2011 (平成 23) 年	高校 63
	久保國男	1960 (昭和 35) 年	高校 12		関田宗範	2011 (平成 23) 年	高校 63
	山本達雄	1960 (昭和 35) 年	高校 12		宇賀直道	2012 (平成 24) 年	高校 64
	阿出川信夫	1961 (昭和 36) 年	高校 13		手島秀則	2012 (平成 24) 年	高校 64
	池田雅彦	1962 (昭和 37) 年	高校 14		中村建介	2012 (平成 24) 年	高校 64
	高田隆義	1963 (昭和 38) 年	高校 15		北野史浩	2013 (平成 25) 年	高校 65
	杉山勝正	1963 (昭和 38) 年	高校 15		熊谷太輝	2013 (平成 25) 年	高校 65
	小倉義雄	1966 (昭和 41) 年	高校 18		白石慎太郎	2013 (平成 25) 年	高校 65
○	宮沢正喜	1966 (昭和 41) 年	高校 18		田口雄飛	2013 (平成 25) 年	高校 65
	関塚正治	1968 (昭和 43) 年	高校 20		畑本麻斗	2013 (平成 25) 年	高校 65
○	内山正敏	1968 (昭和 43) 年	高校 20	○	加藤雅大	2014 (平成 26) 年	高校 66
	富岡俊明	1969 (昭和 44) 年	高校 21	○	前田啓行	2014 (平成 26) 年	高校 66
	中田守喜	1969 (昭和 44) 年	高校 21	○	星野将輝	2014 (平成 26) 年	高校 66
	加納耕助	1970 (昭和 45) 年	高校 22	○	杉原弘斗	2014 (平成 26) 年	高校 66
	染谷幸雄	1970 (昭和 45) 年	高校 22				

# 学園だより

## 本郷高校 2016 年大学入学試験合格実績

大学名	計	現役
国公立・大学校		
東京	11	11
京都	5	2
一橋	7	6
東京工業	6	6
北海道	3	1
東北	3	2
大阪	1	1
九州	2	2
筑波	7	4
千葉	8	8
埼玉	1	1
東京外国語	5	5
東京学芸	1	1
東京農工	7	5
東京医科歯科	2	1
電気通信	6	5
首都大学東京	5	3
横浜国立	1	1
東京海洋	1	
新潟	1	1
信州	1	
秋田	4	2
茨城	1	1
宇都宮	1	
札幌医科	1	1
宮崎	1	1
国際教養	1	1
帯広畜産	1	1
高崎経済	1	1
静岡	1	1
山梨	1	1
京都府立	1	1
防衛	1	1
防衛医科	1	1

大学名	計	現役
私立		
早稲田	175	150
慶応義塾	77	65
上智	49	43
東京理科	118	105
明治	140	118
青山学院	19	15
立教	43	33
中央	38	32
法政	32	23
学習院	12	10
成蹊	6	4
成城	6	5
明治学院	14	14
日本	50	32
専修	7	6
東洋	14	11
駒澤	8	6
獨協	1	1
國學院	6	3
武蔵	3	1
神奈川	3	2
玉川	2	2
東海	4	2
帝京	7	4
拓殖	1	
国際基督教	5	1
東京都市	3	2
芝浦工業	40	36
麻布	1	1
北里	7	6
杏林	6	
工学院	5	4
埼玉医科	2	1
順天堂	3	3

大学名	計	現役
私立		
城西	2	1
昭和	8	4
昭和薬科	2	2
聖マリアンナ医科	2	
多摩美術	2	2
千葉工業	4	1
帝京平成	1	1
東京医科	1	
東京工科	1	1
東京歯科	1	
東京慈恵会医科	3	2
東京電機	15	10
東京薬科	1	1
同志社	1	
東邦	11	9
日本医科	2	
日本歯科	2	2
文教	2	2
星薬科	4	4
武蔵野	2	2
武蔵野美術	2	2
明星	1	1
横浜薬科	1	1
立命館	4	3
金沢工業	2	2
金沢歯科	2	
東北医科薬科	1	

(2016年4月5日現在)

### 2015 年度退職教職員

校長 北原 福二



- (2) 会則の改正
  - (3) 理事の承認並びに監事の選出
  - (4) 事業報告及び収支決算の承認
  - (5) その他本会の運営に関する重要事項
- 二 会長は理事会の議決により臨時に総会を招集することができる。

#### 《理事会》

第十三条 理事会は会長の要請もしくは理事の過半数の請求により開催する。

- 二 理事会は次の事項を審議し議決する。
  - (1) 会長の選出
  - (2) 第五条第2号に該当する会員の承認
  - (3) 総会の議決した事項の執行
  - (4) 総会に付議すべき事項
  - (5) 運営委員会より付議された事項
  - (6) その他総会の議決を要しない会務の執行に関する事項

#### 《運営委員会》

第十四条 運営委員会は会長及び副会長、本会の事業を担当する理事で構成する。

二 運営委員会は会長の招集によって開催し、本会の日常の運営にあたる。

第十五条 第十二条第一項並びに第十三条第二項にかかわらず、緊急を要する事案は運営委員会において処理し、事後、理事会の承認を得るものとする。

#### ◆ 第五章 事業及び議決 ◆

#### 《事業の遂行》

第十六条 会長は、企画及び会誌の発行、会計、庶務等の副会長の担当を定め、かつこれを補佐する理事を指名する。担当副会長は理事の協力を得て本会の事業を行う。

#### 《事務取扱者》

第十七条 本会の事務を処理するため事務取扱者を置く。担当者は運営委員会委員の中より会長が委嘱する。

#### 《議決》

第十八条 会員は総会において発言権、議決権を有する。

二 総会、理事会の議決は出席者の過半数をもって決する。可否同数の場合は議長が決める。

#### ◆ 第六章 会計 ◆

#### 《事業年度》

第十九条 本会の会計年度は毎年四月一日に始まり翌年三月三十一日に終わる。

#### 《事業計画及び収支予算》

第二十条 本会の事業計画書及び収支予算書は会長が作成し、総会の議決を得なければならない。ただし総会までの間は理事会の議決によることを妨げない。

#### 《事業報告及び収支決算》

第二十一条 本会の事業報告書及び収支決算書は、会長が事業年度終了後遅滞なく作成し、監事の監査を経たうえ、総会の議決を得なければならない。

#### 《会計》

第二十二条 本会の経費及び事業資金は次をもって充当する。

- (1) 入会金
- (2) 会員の年会費
- (3) 利息収入
- (4) 寄付金品

二 いったん納入した金品は一切返還しない。

第二十三条 会員は年会費を二口式千円として二口以上を毎年納付するものとする。

二 卒業時の入会金は壹万円とする。

#### ◆ 第七章 会則の改正 ◆

第二十四条 本会則は総会において出席会員の三分の二以上の賛成を経て改正することができる。

#### ◆ 付 則 ◆

本会則は平成十五年六月二十一日より施行する。  
本改正会則は平成二十二年六月十九日より施行する。ただし第二十三条第二項については平成二十三年度より実施する。

以上





- |  |  |   |  |   |  |   |   |  |  |   |   |   |  |   |  |
|--|--|---|--|---|--|---|---|--|--|---|---|---|--|---|--|
| 高54<br>根岸 敬大<br>深山 敬大<br>後藤 泰治<br>中村 旭<br>小村 寛之<br>齊藤 秀雄<br>奥山 雄太<br>福森 洋輔<br>中井 秀昌<br>今井 秀高<br>馬渡 千星<br>小谷 一仁<br>猪越 正直<br>鈴木 慎吾<br>坂田 憲和<br>坂本 泰宏<br>鈴木 常太<br>向井 崇平<br>藤本 耕平<br>塩畑 太一<br>高橋 智久<br>若西 良介<br>古島 剛<br>染谷 快典<br>乙丸 貴史<br>山本 健太郎 | 高55<br>大河内 伸剛<br>佐藤 裕<br>塚田 匡<br>大塚 真弘<br>高井 俊宏<br>小林 遼<br>川田 大助<br>菅原 一輝<br>小高 真樹<br>卯坂 潤一郎<br>後藤 隆徳<br>長谷川 裕之<br>長谷川 誠 | 高56<br>高井 俊宏<br>小林 遼<br>川田 大助<br>菅原 一輝<br>小高 真樹<br>卯坂 潤一郎<br>後藤 隆徳<br>長谷川 裕之<br>長谷川 誠 | 高57<br>吉田 直亮<br>栗田 直亮<br>山口 遼<br>安藤 裕哉<br>宮本 英明<br>宮本 知明<br>石川 賢<br>宮川 元 | 高58<br>池田 一樹<br>西原 和人<br>松島 正浩<br>金尾 晋一郎<br>梅田 翔太<br>宮沢 祐太<br>小笠 貴剛<br>杉浦 貴則<br>陣場 成行<br>佐々木 優太郎<br>内堀 誠也<br>森下 弘基<br>町田 修<br>竹本 雅純<br>小穴 泰裕<br>横井 航平<br>宇津木 純一<br>岩瀬 良平<br>吉田 成輝<br>山本 陸<br>中山 直生人<br>黒田 雄平<br>正木 直哉<br>小澤 駿一郎<br>藤井 翔太郎<br>藤井 健太郎<br>簡井 健太郎<br>中村 聡志<br>鳥居 映<br>飯田 大也<br>吉田 展昭<br>久保 玲生<br>浅野 泰寛<br>小林 祐晃<br>古田 大 | 高59<br>宇田川 翔平<br>金屋 春樹<br>小泉 隼人<br>水谷 貴充<br>廣瀬 大志<br>山本 勝章<br>林 輪太郎<br>松本 康佑 | 高60<br>宮崎 修也<br>矢吹 卓大<br>吉田 展昭<br>久保 玲生<br>浅野 泰寛<br>小林 祐晃<br>古田 大 | 高61<br>宇津木 純一<br>岩瀬 良平<br>吉田 成輝<br>山本 陸<br>中山 直生人<br>黒田 雄平<br>正木 直哉<br>小澤 駿一郎<br>藤井 翔太郎<br>藤井 健太郎<br>簡井 健太郎<br>中村 聡志<br>鳥居 映<br>飯田 大也<br>吉田 展昭<br>久保 玲生<br>浅野 泰寛<br>小林 祐晃<br>古田 大 | 高62<br>加藤 雄太<br>安藤 裕太<br>伊藤 健太<br>植田 耕平<br>春原 裕樹<br>金 晟徹<br>大澤 亜希良<br>鈴木 亨尚<br>平田 雅俊<br>兵頭 義章<br>伊藤 弘暁<br>小林 祐晃<br>福嶋 大樹<br>木塚 紀仁<br>木原 康太<br>木原 健裕<br>山川 直人<br>津内 哲<br>魚崎 晃介<br>三好 亮麻<br>隣 誠也<br>秋山 裕輔<br>關田 宗範<br>高島 開<br>高橋 幸佑<br>坂井 翔伍<br>河野 遼<br>梅田 諒太<br>望月 秀人<br>小林 真晴<br>幸田 陽一朗<br>櫻井 幹生<br>申 俊利<br>田中 孝士郎<br>石川 貴博<br>越田 大樹<br>野口 諒<br>小谷田 宏紀<br>古谷田 悠太郎<br>米田 健寛<br>若林 稜大<br>松永 啓佑 | 高63<br>福嶋 大樹<br>木塚 紀仁<br>木原 康太<br>木原 健裕<br>山川 直人<br>津内 哲<br>魚崎 晃介<br>三好 亮麻<br>隣 誠也<br>秋山 裕輔<br>關田 宗範<br>高島 開<br>高橋 幸佑<br>坂井 翔伍<br>河野 遼<br>梅田 諒太<br>望月 秀人<br>小林 真晴<br>幸田 陽一朗<br>櫻井 幹生<br>申 俊利<br>田中 孝士郎<br>石川 貴博<br>越田 大樹<br>野口 諒<br>小谷田 宏紀<br>古谷田 悠太郎<br>米田 健寛<br>若林 稜大<br>松永 啓佑 | 高64<br>高橋 幸佑<br>坂井 翔伍<br>河野 遼<br>梅田 諒太<br>望月 秀人<br>小林 真晴<br>幸田 陽一朗<br>櫻井 幹生<br>申 俊利<br>田中 孝士郎<br>石川 貴博<br>越田 大樹<br>野口 諒<br>小谷田 宏紀<br>古谷田 悠太郎<br>米田 健寛<br>若林 稜大<br>松永 啓佑 | 高65<br>石川 貴博<br>越田 大樹<br>野口 諒<br>小谷田 宏紀<br>古谷田 悠太郎<br>米田 健寛<br>若林 稜大<br>松永 啓佑 | 高66<br>正村 公宏<br>間田 泰久<br>城子 大朗<br>重松 英恵<br>田中 駿<br>三枝 直幹<br>本郷 辰之丞<br>近藤 直人<br>武富 一起<br>吉満 慎吾<br>上原 大晟<br>梁 宇哲<br>平井 大介<br>若浦 優斗<br>伊大知 朋希<br>佐藤 秀行<br>星野 宙也<br>田中 健太<br>伊藤 健太<br>ドル 有生<br>古谷 龍一<br>加茂 大輝<br>藤田 大輝<br>山本 敏生<br>海野 廣大<br>海野 雄大<br>駒野 湧紀<br>土屋 宗平<br>羽諸 綜太郎 | 高67<br>加茂 大輝<br>藤田 大輝<br>山本 敏生<br>海野 廣大<br>海野 雄大<br>駒野 湧紀<br>土屋 宗平<br>羽諸 綜太郎 | 春日 大輝<br>片桐 幹<br>米田 勝善<br>渡邊 悠太郎<br>安原 悠太<br>山崎 達<br>青木 瑞樹<br>岩村 将孝<br>遠藤 雅之<br>大嶋 優介<br>谷口 拓望<br>戸邊 望<br>須藤 大介<br>新井 達也<br>外山 倫太郎<br>藤崎 友多<br>藤森 良太<br>尚原 弘和<br>上野 圭一郎<br>井上 智皓<br>倉地 宏明<br>関本 圭吾<br>吉田 達彦<br>高亮 大明<br>渡邊 正理<br>正村 公宏<br>間田 泰久<br>城子 大朗<br>重松 英恵<br>田中 駿<br>三枝 直幹<br>本郷 辰之丞<br>近藤 直人<br>武富 一起<br>吉満 慎吾<br>上原 大晟<br>梁 宇哲<br>平井 大介<br>若浦 優斗<br>伊大知 朋希<br>佐藤 秀行<br>星野 宙也<br>田中 健太<br>伊藤 健太<br>ドル 有生<br>古谷 龍一<br>加茂 大輝<br>藤田 大輝<br>山本 敏生<br>海野 廣大<br>海野 雄大<br>駒野 湧紀<br>土屋 宗平<br>羽諸 綜太郎 | 山岸 清剛<br>住吉 克志<br>色川 雅崇<br>中村 俊博<br>遠藤 大也<br>安井 朔<br>石野 貴大<br>矢野 水介<br>倉地 康平<br>鈴木 文也<br>松井 智紀 |
|--|--|---|--|---|--|---|---|--|--|---|---|---|--|---|--|

納入者数

847人

※万全を期したつもりですが、  
万が一、お名前の漏れや誤字、  
脱字などの間違いがありましたら  
ご容赦ください。FAXでご  
一報いただければ幸いです。  
FAX 03-3917-0007

回期等 不明者  
ワタナベ マサル  
オモカワ タカシ  
ウヰ ナカムラ ヨシノ  
イシイ セイイチ  
スズキ アキラ(200)  
スズキ ヤスヨシ  
サカイ コウイチ  
ノグチ タカヒロ  
ミヤジ マサトシ  
1986 196008  
ベンゴシ イケダ  
イイイズミ アキヒロ  
ヤジマツユキ ヤジ  
カイインバンゴウ  
スズキヒロユキ  
アイバヒデオ  
コバヤシヒデオ  
松井 智紀

謹んでご冥福をお祈り致します  
同窓会にご連絡のあった方のみ掲載しております

中3	千野 定勝	高橋 璋守	栗原 廣太郎
	早川 剛一郎	竹田 斌郎	佐瀬 友貞
中5	石原 直重	田中 凡夫	佐野 義信
	曾根田 常雄	澤木 貢一	谷澤 文雄
中6	益池 正二	清水 英夫	高7
	青柳 正二	澤部 臣省	連沼 徹
	恩田 美園	田中 章治	竹内 晋一
	秀島 辰弥	田中 稔	高8
	堀江 勇治	寺口 有喜公	角能 良章
中7	坂井 三郎	姫野 俊之	勅使河原 宏記
	田島 辰雄	岡田 清和	高10
	有賀 活郎	岡田 光正	上本 清治
	萩野 紀重	久保田 稔	高11
	小宮 徳次	武居 俊一郎	石和 田 永俊
中9	小林 豊年	服部 定善	高12
	土岐 豊年	北條 晃敬	高13
	山本 民二	松島 寿夫	高14
	山本 功	寺井 隆仁	高17
中10	山田 英彌	寺井 隆仁	高18
	吉田 正吾	築尚 一己	高19
	小松 昭	大矢 和夫	高20
	赤井 文晴	大久保 一郎	高21
中11	守本 功	中20	早川 盛男
	山田 英彌	中21	館 里次
	吉田 正吾	中22	高22
	小松 昭	中23	高23
	赤井 文晴	中24	高24
	大矢 和夫	中25	高25
	大久保 一郎	中26	高26
	中27	中28	高27
	中29	中30	高28
	中31	中32	高29
	中33	中34	高30
	中35	中36	高31
	中37	中38	高32
	中39	中40	高33
	中41	中42	高34
	中43	中44	高35
	中45	中46	高36
	中47	中48	高37
	中49	中50	高38
	中51	中52	高39
	中53	中54	高40
	中55	中56	高41
	中57	中58	高42
	中59	中60	高43
	中61	中62	高44
	中63	中64	高45
	中65	中66	高46
	中67	中68	高47
	中69	中70	高48
	中71	中72	高49
	中73	中74	高50
	中75	中76	高51
	中77	中78	高52
	中79	中80	高53
	中81	中82	高54
	中83	中84	高55
	中85	中86	高56
	中87	中88	高57
	中89	中90	高58
	中91	中92	高59
	中93	中94	高60
	中95	中96	高61
	中97	中98	高62
	中99	中100	高63
	中101	中102	高64
	中103	中104	高65
	中105	中106	高66
	中107	中108	高67
	中109	中110	高68
	中111	中112	高69
	中113	中114	高70
	中115	中116	高71
	中117	中118	高72
	中119	中120	高73
	中121	中122	高74
	中123	中124	高75
	中125	中126	高76
	中127	中128	高77
	中129	中130	高78
	中131	中132	高79
	中133	中134	高80
	中135	中136	高81
	中137	中138	高82
	中139	中140	高83
	中141	中142	高84
	中143	中144	高85
	中145	中146	高86
	中147	中148	高87
	中149	中150	高88
	中151	中152	高89
	中153	中154	高90
	中155	中156	高91
	中157	中158	高92
	中159	中160	高93
	中161	中162	高94
	中163	中164	高95
	中165	中166	高96
	中167	中168	高97
	中169	中170	高98
	中171	中172	高99
	中173	中174	高100
	中175	中176	高101
	中177	中178	高102
	中179	中180	高103
	中181	中182	高104
	中183	中184	高105
	中185	中186	高106
	中187	中188	高107
	中189	中190	高108
	中191	中192	高109
	中193	中194	高110
	中195	中196	高111
	中197	中198	高112
	中199	中200	高113
	中201	中202	高114
	中203	中204	高115
	中205	中206	高116
	中207	中208	高117
	中209	中210	高118
	中211	中212	高119
	中213	中214	高120
	中215	中216	高121
	中217	中218	高122
	中219	中220	高123
	中221	中222	高124
	中223	中224	高125
	中225	中226	高126
	中227	中228	高127
	中229	中230	高128
	中231	中232	高129
	中233	中234	高130
	中235	中236	高131
	中237	中238	高132
	中239	中240	高133
	中241	中242	高134
	中243	中244	高135
	中245	中246	高136
	中247	中248	高137
	中249	中250	高138
	中251	中252	高139
	中253	中254	高140
	中255	中256	高141
	中257	中258	高142
	中259	中260	高143
	中261	中262	高144
	中263	中264	高145
	中265	中266	高146
	中267	中268	高147
	中269	中270	高148
	中271	中272	高149
	中273	中274	高150
	中275	中276	高151
	中277	中278	高152
	中279	中280	高153
	中281	中282	高154
	中283	中284	高155
	中285	中286	高156
	中287	中288	高157
	中289	中290	高158
	中291	中292	高159
	中293	中294	高160
	中295	中296	高161
	中297	中298	高162
	中299	中300	高163
	中301	中302	高164
	中303	中304	高165
	中305	中306	高166
	中307	中308	高167
	中309	中310	高168
	中311	中312	高169
	中313	中314	高170
	中315	中316	高171
	中317	中318	高172
	中319	中320	高173
	中321	中322	高174
	中323	中324	高175
	中325	中326	高176
	中327	中328	高177
	中329	中330	高178
	中331	中332	高179
	中333	中334	高180
	中335	中336	高181
	中337	中338	高182
	中339	中340	高183
	中341	中342	高184
	中343	中344	高185
	中345	中346	高186
	中347	中348	高187
	中349	中350	高188
	中351	中352	高189
	中353	中354	高190
	中355	中356	高191
	中357	中358	高192
	中359	中360	高193
	中361	中362	高194
	中363	中364	高195
	中365	中366	高196
	中367	中368	高197
	中369	中370	高198
	中371	中372	高199
	中373	中374	高200
	中375	中376	高201
	中377	中378	高202
	中379	中380	高203
	中381	中382	高204
	中383	中384	高205
	中385	中386	高206
	中387	中388	高207
	中389	中390	高208
	中391	中392	高209
	中393	中394	高210
	中395	中396	高211
	中397	中398	高212
	中399	中400	高213
	中401	中402	高214
	中403	中404	高215
	中405	中406	高216
	中407	中408	高217
	中409	中410	高218
	中411	中412	高219
	中413	中414	高220
	中415	中416	高221
	中417	中418	高222
	中419	中420	高223
	中421	中422	高224
	中423	中424	高225
	中425	中426	高226
	中427	中428	高227
	中429	中430	高228
	中431	中432	高229
	中433	中434	高230
	中435	中436	高231
	中437	中438	高232
	中439	中440	高233
	中441	中442	高234
	中443	中444	高235
	中445	中446	高236
	中447	中448	高237
	中449	中450	高238
	中451	中452	高239
	中453	中454	高240
	中455	中456	高241
	中457	中458	高242
	中459	中460	高243
	中461	中462	高244
	中463	中464	高245
	中465	中466	高246
	中467	中468	高247
	中469	中470	高248
	中471	中472	高249
	中473	中474	高250
	中475	中476	高251
	中477	中478	高252
	中479	中480	高253
	中481	中482	高254
	中483	中484	高255
	中485	中486	高256
	中487	中488	高257
	中489	中490	高258
	中491	中492	高259
	中493	中494	高260
	中495	中496	高261
	中497	中498	高262
	中499	中500	高263
	中501	中502	高264
	中503	中504	高265
	中505	中506	高266
	中507	中508	高267
	中509	中510	高268
	中511	中512	高269
	中513	中514	高270
	中515	中516	高271
	中517	中518	高272
	中519	中520	高273
	中521	中522	高274
	中523	中524	高275
	中525	中526	高276
	中527	中528	高277
	中529	中530	高278
	中531	中532	高279
	中533	中534	高280
	中535	中536	高281
	中537	中538	高282
	中539	中540	高283
	中541	中542	高284
	中543	中544	高285
	中545	中546	高286
	中547	中548	高287
	中549	中550	高288
	中551	中552	高289
	中553	中554	高290
	中555	中556	

# 銀友

第45号 2016年5月1日発行 本郷学園同窓会

## 本郷学園校歌

むかしは植樹の名どころ染井  
とりわけ紅葉の錦に知らる  
今は学園ここに開けて  
国の柱の苗木を育つ  
ああわれら 誇りの本郷学園  
ああ柱苗木の青年われら  
つとめば未来に何えせざらむ  
さらば固めよ処世のもとい  
こころは剛毅に身は強健に  
ああわれら 誇りの本郷学園

作詩 坪内逍遙  
作曲 信時 潔



本郷祭(学園文化祭)を同窓生交流の場に  
-9月17日(土)、18日(日)-

同窓会展示室を開設(当日のプログラムでご案内します)

《当日は同期会・クラス会・部活OB会などの集合場所にご利用ください》

同窓会懇親会を開催 9月18日(日) 15:00~17:00

会場: 三菱養和会巣鴨スポーツセンター2階「レストランパルテール」

会費: 3,000円

※ 展示室で利用券を受け取りご参集ください